NEC

STEP 1

はじめにお読みください

ISDNターミナルアダプタ
Aterm® IT40/D（PC-IT40D1A）

1. ご使用の前に
2. 接続とその確認をする
3. Atermを使えるようにする

マニュアルの主な内容

Atermには、次のマニュアルが用意されています

Step1「はじめにお読みください」

Atermを使用するために必要な手続き、接続のしかた、基本的な設定、インターネットへの接続までを説明しています。
最初にパソコンのOSや電話機別に必要な手続きや設定を図表にして記載しています。
初めてAtermを使用するときには、必ずお読みください。

Step2「活用マニュアル」

Atermの全ての機能とその操作方法および設定方法について説明しています。
「はじめにお読みください」の後にお読みいただき、あなたの通信環境に合わせた設定をおこなってください。

「お困りのときには」

Atermを使用中に何かトラブルが起きたときの症状と対策をQ&A方式で説明しています。
その他、問い合わせ先やサービスステーション、Atermのホームページの URL も記載しています。
「らくらくウィザード」を使ってうまく設定できなかったときの手動によるインターネットの接続の方法やWindowsNT4.0でのインターネットへの接続方法等も記載しています。

はじめに

このたびは、AtermIT40/Dをお買い上げいただきありがとうございます。
AtermIT40/Dは、NTTのISDN網「INSネット64」にパソコンや電話機、ファクス、モデム等を接続するためのターミナルアダプタです。

本書では、AtermIT40/Dをご購入いただいてからご使用いただくための手続き、設置・接続、基本設定、インターネットへの接続までを説明しています。

本書をひととおりお読みになれば電話機とファクスの電話番号での呼び分けからインターネットアクセスまでができるようになります。

本装置をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

安全に正しくお使いいただくための表示について

危　険：人が死亡するまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警　告：人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注　意：人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP
お願い：本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

もくじ

もくじ つづき

1 ご使用の前に

Aterm をご使用になる前に、
知っておいていただきたいことや
確認していただきたいことを説明しています。

1-1. Atermを使用できるようにするためには

本書「はじめにお読みください」は、Aterm を使用するための基本的な手順について説明しています。
必ず、よくお読みのうえ正しく使用してください。

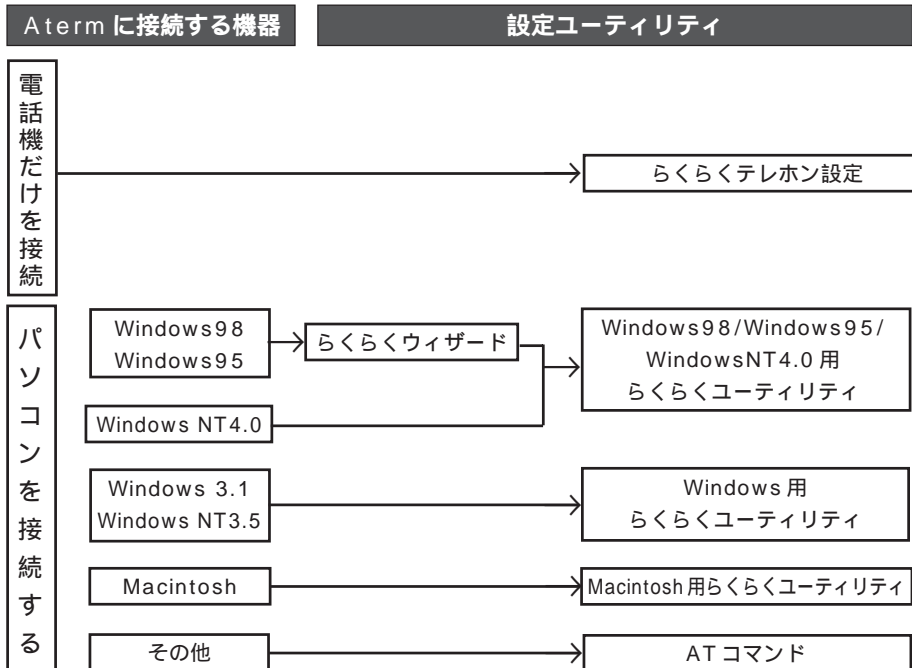
Aterm を使用できるようにするためには、あらかじめ設定をする必要があります。ただし、次のような場合は設定をする必要がありません。

- **データポートにパソコンを接続せず、アナログポートのみを使用する場合で、Aterm のすべてのアナログポートに電話機を接続して、契約者回線番号で同時に呼び出して使用する場合**

上記以外の場合は、設定が必要です。

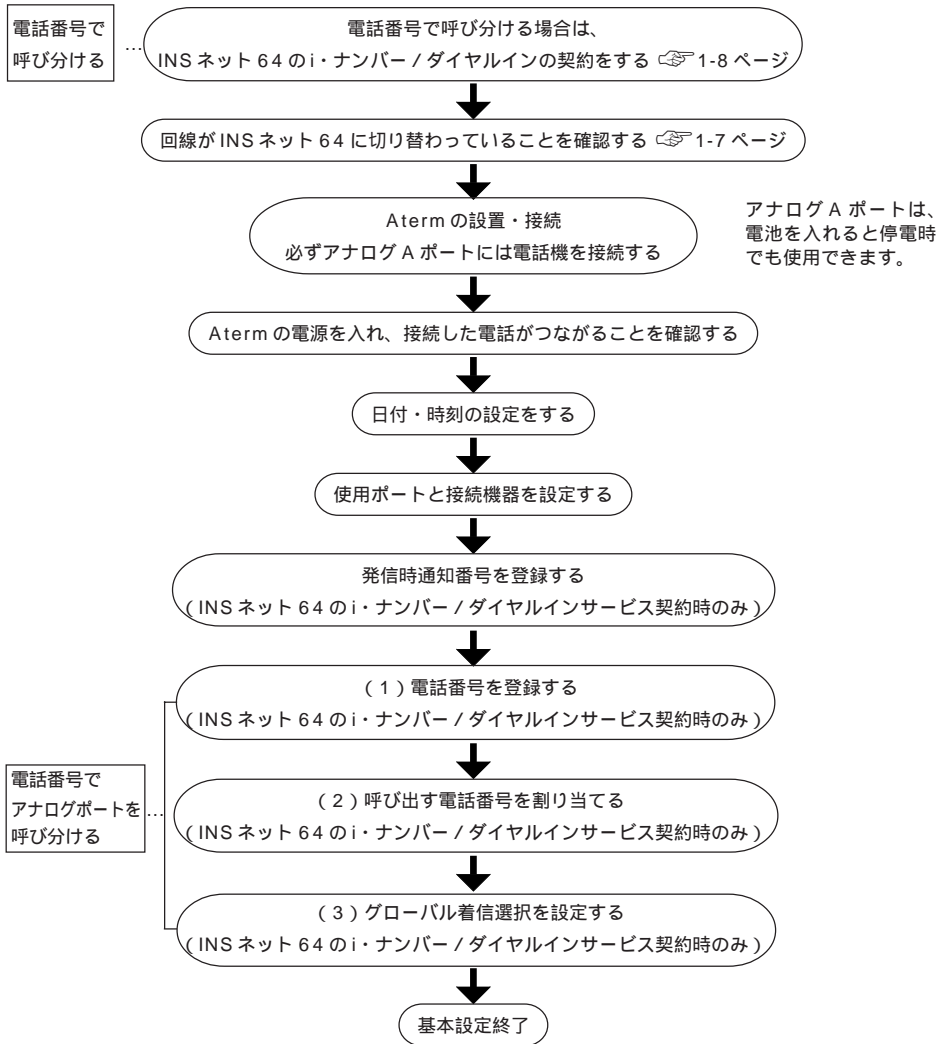
また、**1-4 ページ**以降に、Aterm の設定についてのフローチャートを記載していますので、ご使用の環境に応じてご覧ください。

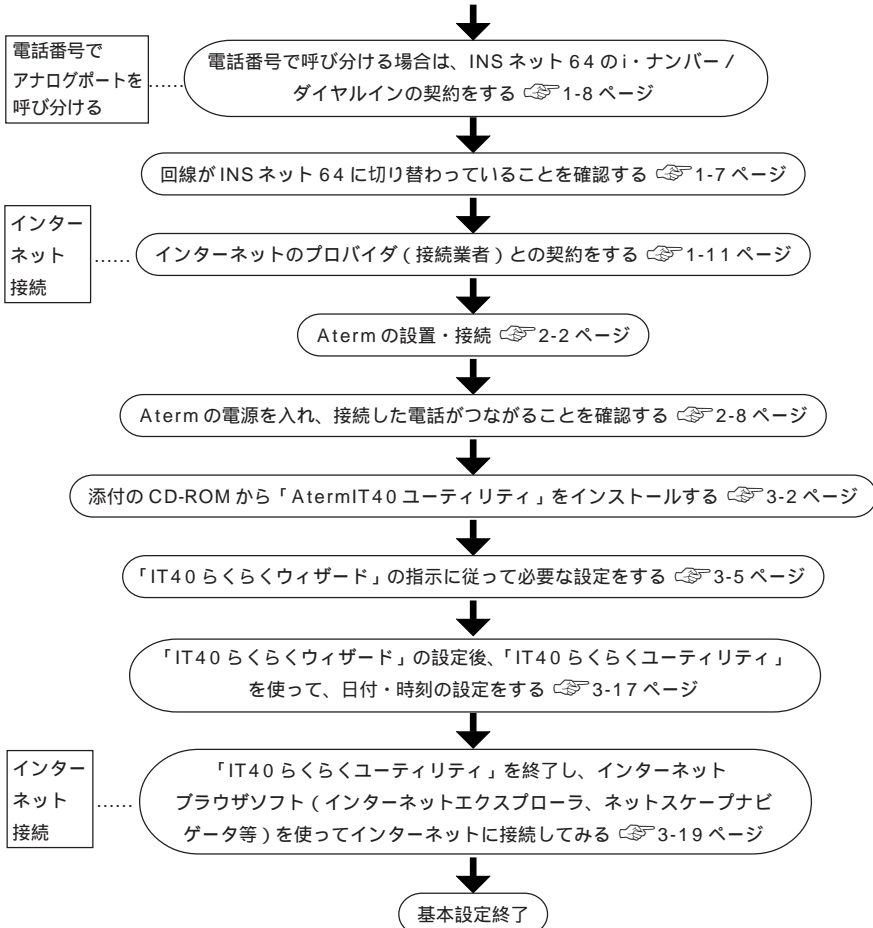
1-1-1. Atermの設定のしかた

Atermには、いくつもの設定ツールがあります。接続している機器によって設定ツールを選んでください。

- **らくらくテレホン設定では……. Atermの液晶ディスプレイを見ながら電話機からアナログポートに関する設定ができます。**
- **らくらくユーティリティでは … パソコンからアナログポートとデータポートに関する設定ができます。**
- **らくらくウィザードでは ………. パソコンから基本的なアナログポートの呼び分けとパソコンのインターネット接続設定ができます。**

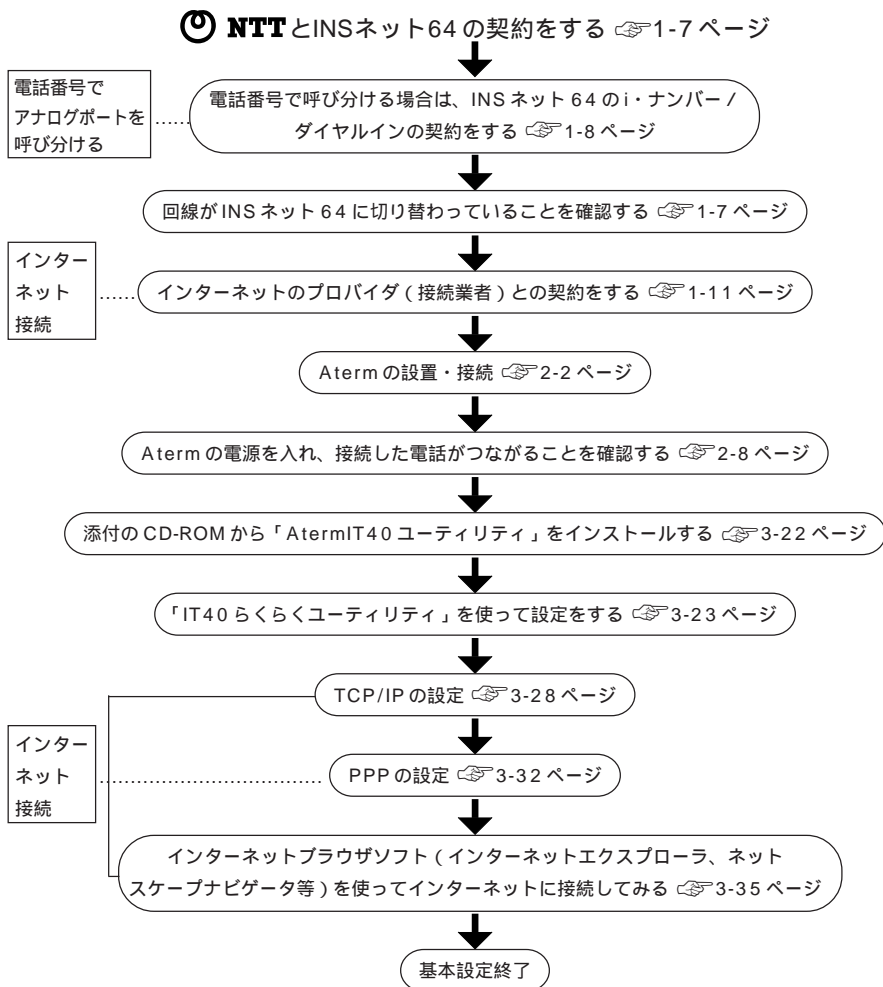
※ お客様のパソコン環境によっては、らくらくウィザード、らくらくユーティリティがご利用になれない場合があります。詳細については、『お困りのときには』 ☞**1-9ページ**を参照してください。

●電話機だけを使う場合

電話機を使って、日付･時刻の設定から電話番号でアナログポートを呼び分けるまでの設定をします。

● Windows98/Windows95 を使う場合

データポートを使ってインターネットに接続するための設定までをおこないます。
電話番号でのアナログポートの呼び分けも「IT40らくらくウィザード」の中で設定をすることができます。

＊ インターネットプロバイダとの契約をしていない方でも、「らくらくウィザード」の設定の中で、NECのインターネットプロバイダ「BIGLOBE」とのオンライン・サインアップ（パソコン通信を使った契約）をすることができます。

● Macintoshを使う場合

データポートを使ってインターネットに接続するための設定までをおこないます。
電話番号でアナログポートの呼び分けをする場合は、「IT40らくらくユーティリティ」で設定をすることができます。

1-2. Atermをご使用になるための条件

Aterm をご使用になるには次の条件がそろっていることが必要です。条件がそろっていないと Aterm を使用することができないのでご注意ください。

1-2-1.INS ネット 64 と機器の準備

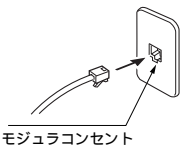
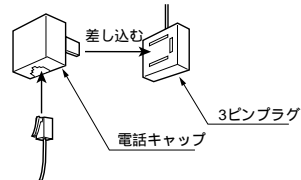
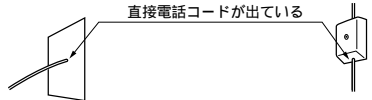
● INS ネット 64 の契約はお済みですか？

Atermは、ISDN網（デジタル回線）「INSネット64」接続用のターミナルアダプタ（TA）(*1)ですので、使用するときは必ず INS ネット 64 の契約が必要です。
契約がすんでいない場合は、「INS ネット 64 のお申し込み」（☞**4-2 ページ**）を参照して申し込みをおこなってください。
また、申し込みをしていても、回線がINSネット64に切り替わるまでは、Atermを使用することはできません。
INS ネット 64 に切り替わる日時をご確認ください。

(*1) ターミナルアダプタ（TA）とは、電話機、ファクス、モデム等のアナログ機器を使用するときにデジタル信号をアナログ信号に変換し、パソコンを使った通信をおこなう場合には、デジタル信号をパソコン用の信号に変換するための装置です。デジタル回線を使ってアナログ機器を使用するときやデジタル回線によるパソコン通信をおこなうときには、必要な装置です。

● 回線用のコンセントはモジュラタイプですか？

回線用のコンセントの形状によっては、そのまま接続できない場合があります。形状をご確認ください。

ご使用の前に
接続とその確認をする
Atermを使えるようにする
付録
索引

1-2-2.電話番号でアナログポートを呼び分けたい場合の条件

電話番号で、アナログポートを呼び分けるためには、①INS ネット 64 のi・ナンバーを契約する、②INS ネット 64 のダイヤルインサービスを契約するの 2 通りの方法があります。条件が異なりますので、それぞれの説明をお読みください。

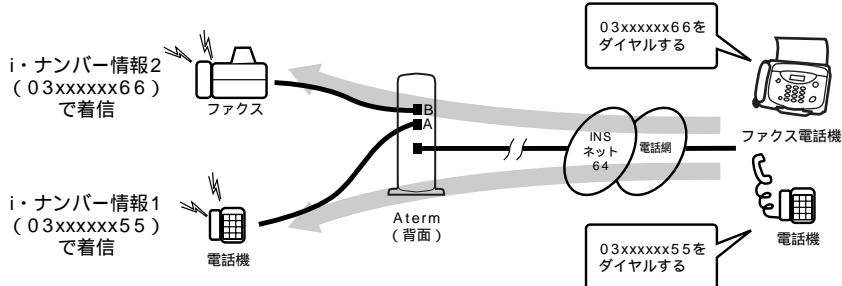
① INS ネット 64 のi・ナンバーを使って電話の呼び分けをする場合

● **INS ネット 64 のi・ナンバーの契約が必要です（月々の利用料金がかかります）**
INS ネット 64 のi・ナンバーはINS ネット 64 の契約時に申し込むことができます。i・ナンバーの契約をすると、2 つの電話番号を持つことができるので相手の方がかけてきたときに通知されるi・ナンバー情報ごとに、着信するポートを特定することができます。
1 つ目の電話番号（契約者回線番号）が、i・ナンバー情報 1、2 つ目の電話番号（ダイヤルイン番号）がi・ナンバー情報 2 となります。

i・ナンバーで電話機とファクスを呼び分ける例

アナログポート	アナログポート接続機器
A	電話機（工場出荷状態）
B	FAX ／モデム

電話番号		着信するポート	
		A	B
i・ナンバー情報 1	03xxxxxx55	✔	
i・ナンバー情報 2	03xxxxxx66		✔

※ アナログポートを［使用しない］に設定した場合は、どの着信も受け付けません。

設定方法

Windows98/Windows95（IT40 らくらくウィザードを使用）☞ 3-9 ページ
Windows98/Windows95, Windows NT4.0（IT40 らくらくユーティリティを使用）
☞ 『活用マニュアル』5-6 ページ
Macintosh ☞ 3-25 ページ
電話機 ☞ 3-44 ページ

② INS ネット 64 のダイヤルインサービスを使って電話の呼び分けをする場合

● **INSネット64のダイヤルインサービスの契約が必要です（月々の利用料金がかかります）**

INS ネット 64 のダイヤルインサービスの契約はINS ネット 64 の契約時に申し込むことができます。ダイヤルインサービスの契約をすると契約者回線番号の他にダイヤルイン番号が割り当てられます。この契約者回線番号とダイヤルイン番号の数だけ電話を呼び分けることができます。

● **契約時には「グローバル着信」を「利用」の契約にします**

「グローバル着信」を「利用」の契約にすると、契約者回線番号の着信には、ターミナルアダプタ(TA)に接続した機器を全て呼び出すようになりますが、Aterm には「グローバル着信選択」という機能があるため、契約者回線番号の着信についても特定のポートを呼び出すことができます。
例えば、2 つのアナログ機器の呼び分けをする場合は、契約者回線番号＋ダイヤルイン番号で呼び分けをすることができます。

設定方法

Windows98/Windows95（IT40 らくらくウィザードを使用） ☞ 3-9 ページ
Windows98/Windows95, Windows NT4.0（IT40 らくらくユーティリティを使用）
☞ 『活用マニュアル』5-6 ページ

Macintosh ☞ 3-26 ページ
電話機 ☞ 3-48 ページ

次ページに呼び分け例を示します。

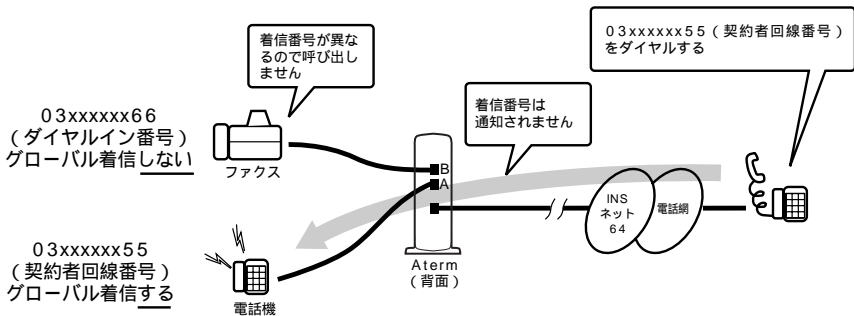
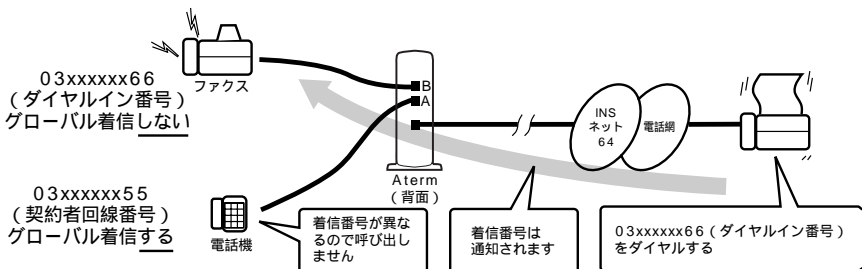
ダイヤルインサービスを利用して電話機とファクスを呼び分ける例

アナログポート	アナログポート接続機器
A	電話機（工場出荷状態）
B	FAX／モデム

契約者回線のグローバル着信	利用する

電話番号		着信するポート	
		A	B
契約者回線番号	03xxxxxx55	✔	
ダイヤルイン番号	03xxxxxx66		✔

※ アナログポートを［使用しない］に設定した場合は、どの着信も受け付けません。

契約者回線番号への呼び出し：［グローバル着信を利用する］に設定することで、契約者回線番号の着信では番号の通知がなくても呼び出します。
ダイヤルイン番号の着信は、選択した番号と異なる番号が通知されるので、呼び出しません。

ダイヤルイン番号への呼び出し：番号の通知がない契約者回線番号の着信は呼び出しません。ダイヤルイン番号の着信は、番号が通知されるので、選択した番号と同じ場合に呼び出します。

1-2-3. インターネットの接続をおこなう場合

インターネットを利用するには、インターネットプロバイダ（接続業者）との契約が必要になります。
プロバイダと契約をすると、そのプロバイダのアクセスポイント（パソコンを接続するための電話番号）を通じてインターネットに接続することができます。

●プロバイダとの契約の手続きには次のものがあります。

書面による申し込み

プロバイダから申込書を取り寄せて必要事項を記入してから郵送します。
ユーザー名、パスワード、メールアドレス等を入手するまで1～2週間かかります。

オンライン・サインアップ（通信による手続き）

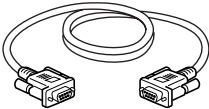
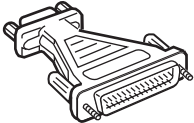
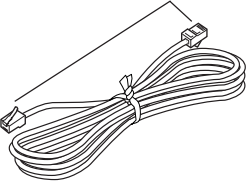
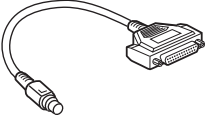
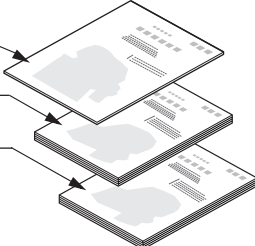
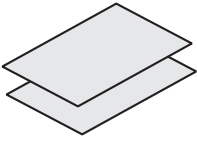
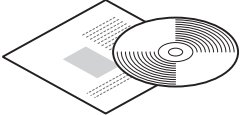
プロバイダの入会専用ホームページに接続して、必要事項を入力します。
ユーザー名、パスワード、メールアドレス等を短時間で入手することができます。
また､接続するアクセスポイントまでの設定を自動的におこなってくれるものもあるので、面倒な設定をすることなくインターネットに接続することができます。

Windows98/Windows95をご利用の方は､Atermに添付の｢IT40らくらくウィザード｣を使って、NECのプロバイダサービスBIGLOBEへのオンラインサインアップができますので是非ご利用ください。

●ホームページや電子メールを見るときは

インターネットに接続してホームページを見たり電子メールを送ったりするには､それぞれ専用のソフトが必要です。

ホームページを見るときは

ブラウザソフト（インターネットエクスプローラやネットスケープナビゲータ等）が必要です。

電子メールを使うときは

電子メールソフト（アウトルックエクスプレス等）が必要です。
最近のパソコンには､これらのソフトは添付されていますが､無い場合はあらかじめ用意してください。

1-3. 添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず次のものがそろっていることを確認してください。
もし、不足しているものがありましたら、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

□ 本　体

□ 縦置きスタンド

□ RS-232C ケーブル(9ピン)

□ 25ピン変換コネクタ

□ INS 回線ケーブル（3m）

6 極モジュラ

□ Mac 変換ケーブル

□マニュアル（3 冊）
- はじめにお読みください（本書）
- 活用マニュアル
- お困りのときには

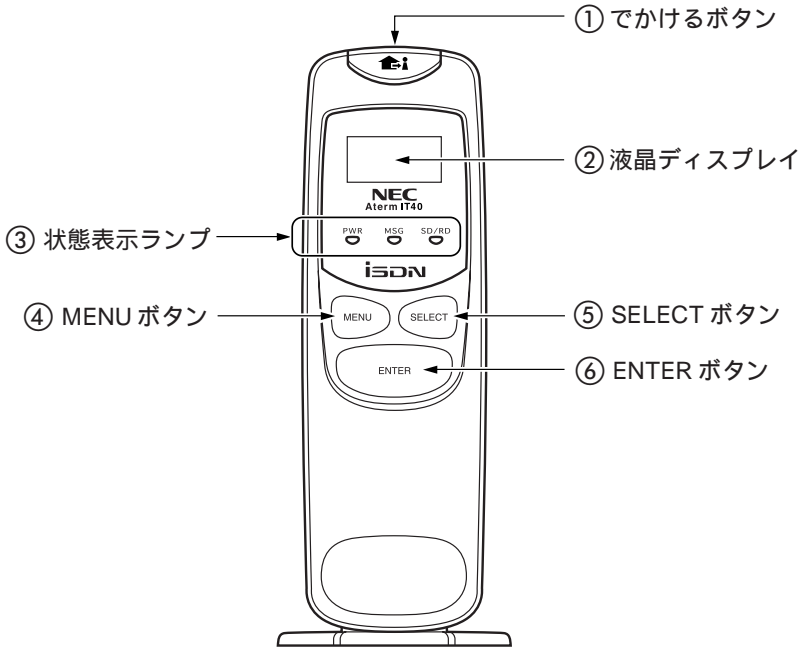
□ユーザ登録ガイド
□ 保証書

□ CD-ROM
「AtermIT40/D ユーティリティ集」

※パソコンで設定するための
CD-ROM です。

（CD-ROM 在中ソフトウェア）
- IT40 らくらくウィザード（Windows 版）
- IT40 らくらくユーティリティ（Windows 版、Macintosh 版）
- IT40 らくらくバージョンアップ（Windows 版、Macintosh 版）
- UUI メール EX（Windows98/Windows95、WindowsNT4.0）
- 電子メール着信通知・UUI メールユーティリティ（Macintosh 版）など

1-4. 各部の名称とはたらき

前面からみたところ

① **でかけるボタン**
お出かけ設定をするときに押します。ボタンが点灯します。お出かけ設定時に着信があると点滅します。
もう一度ボタンを押すとお出かけ設定を解除し、ボタンを消灯します。

② **液晶ディスプレイ**
液晶ディスプレイには、回線や通信機器の使用状況、設定時の内容、日時の表示などを絵文字（ピクトグラム）やメッセージで表示します。

③ **状態表示ランプ**
SD/RD ランプ
SD/RD(Send Data/Receive Data)ランプ
- パソコンから Aterm にデータが送られているときに、緑色に点滅します。
- Aterm からパソコンにデータが送られているときに、赤色に点滅します。

MSG(MESSAGE)ランプ
- 電子メール着信通知、UUI メールが入っているときに、オレンジ色に点滅します。

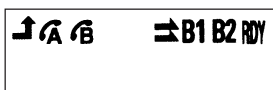
PWR(POWER)ランプ

- 電源が入っているときに、緑色に点灯します。
- 電池で動作しているときは、緑色に速く点滅します（1 秒間に 2 回)。電池の残量が少なくなると、点滅が遅くなります（1 秒間に 1 回)。

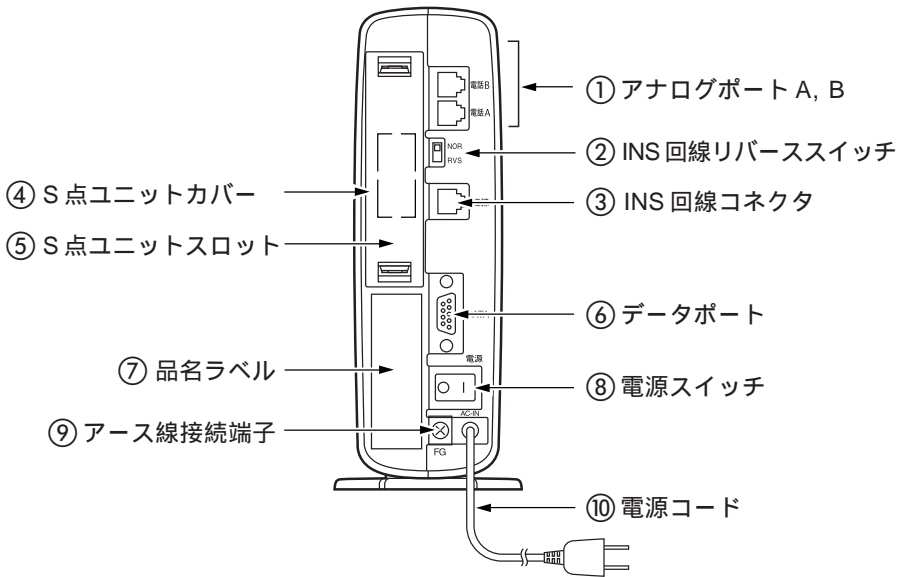
④ **MENU ボタン**
各種の設定をするときに押します。設定中にMENUボタンを押すとキャンセル(解除)の働きをします。

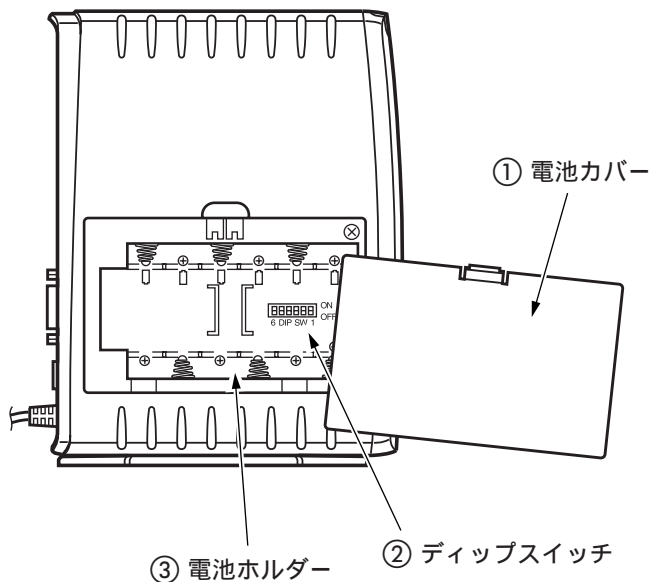
⑤ **SELECT ボタン**
設定をするときの設定項目を変えるときに押します。ボタンを押すたびに設定項目が変わります。

⑥ **ENTER ボタン**
設定項目を決めるときに押します。
マニュアル BOD で通信速度を変える（64kbps ↔128kbps）ときに押します。

絵文字（ピクトグラム）について

絵文字	説明
（転送マーク）	フレックスホンの着信転送や疑似着信転送が設定してあるときに表示されます。
（受話器A）（受話器B）	アナログ（A,B）ポートに接続している通信機器が受話器をあげているときに表示されます。
（データ通信マーク）	データ通信中に表示されます。 （→ ：1 つの B チャネルで通信中（64kbps） ⇄ ：2 つの B チャネルで通信中（128kbps））
B1 B2	B1 チャネル、B2 チャネルを使用中に表示されます。
RDY	データポートにパソコンが接続され、パソコンのER (Equipment Ready) 信号がオンしているときに表示されます。

背面からみたところ

① アナログポート A, B
② INS 回線リバーススイッチ
③ INS 回線コネクタ
④ S 点ユニットカバー
⑤ S 点ユニットスロット
⑥ データポート
⑦ 品名ラベル
⑧ 電源スイッチ
⑨ アース線接続端子
⑩ 電源コード
電話B
電話A
NOR
RVS
電源
AC-IN
FG

① **アナログポート A, B**	電話機、ファクス、モデムなどを接続するコネクタです。
② **INS 回線リバーススイッチ**	INSネット64の配線が逆転しているとき（同期がとれないとき）に切り替えます。切り替えるときは、細く硬いもの（例えば、つまようじの先など）を使ってください。
③ **INS 回線コネクタ**	添付の回線ケーブルを使用して、INSネット64回線と接続するコネクタです。
④ **S 点ユニットカバー**	別売りのS点ユニットの着脱時にこのカバーをはずします。
⑤ **S 点ユニットスロット**	別売りのS点ユニット（PC-IT/U03）を増設するための拡張スロットです。
⑥ **データポート**	添付の RS-232C ケーブルを使用してパソコンに接続するコネクタです。
⑦ **品名ラベル**	Atermの認定番号や製造番号などが記載されています。
⑧ **電源スイッチ**	電源をオン／オフするスイッチです。オンにするときは「**I**」側を押します。
⑨ **アース線接続端子**	アース線を取り付けるための端子です。
⑩ **電源コード**	AC100V の家庭用電源コンセントに接続するコードです。

左側面からみたところ

① 電池カバー	ツメの部分を押し下げながら、カバーを持ち上げるようにするとはずれます。
② ディップスイッチ	OCN エコノミーなどを利用するときに設定します。
③ 電池ホルダー	停電モードで使用する場合、市販の単3アルカリ乾電池（6本）を入れるためのホルダーです。

1-5. Atermを設置するときのご注意

⚠ 警　告

設置場所について

● **風呂、シャワー室への設置禁止**
ふろ場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

● **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

電源について

● **商用電源以外の禁止**
ＡＣ１００Ｖの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差し込み口が２つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

● **電源コードの取扱注意**
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ご購入店またはNECサービスステーションに修理をご依頼ください。

● **ぬれた手での操作の禁止**
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

● **たこあし配線の禁止**
本装置の電源コードは、たこあし配線にしないでください。たこあし配線にするとテーブルタップ等が過熱・劣化し火災の原因となります。

⚠ 注　意

設置場所について

● **火気のそばへの設置禁止**

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● **温度の高い場所への設置禁止**

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● **さかさま置きの禁止**

本装置をさかさまに置かないでください。また、縦置きにする場合は必ず縦置きスタンドを使用してください。

● **不安定な場所への設置禁止**

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● **通風孔をふさぐことの禁止**

本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- あお向けや逆さまにする
- 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- じゅうたんや布団の上に置く
- テーブルクロスなどを掛ける

● **重ね置きの禁止**

本装置を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注　意

電源について

● **プラグの取扱注意**

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **アース線の取り付け**

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

お願い

設置場所について

● **本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。**

・ ほこりや振動が多い場所
・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
・ ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
・ 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機等が近くにある場所

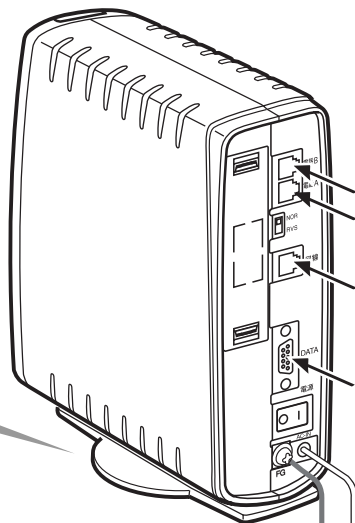
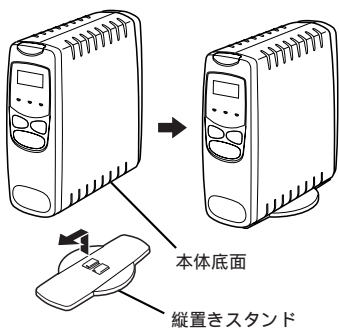
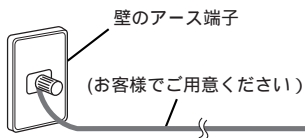
2 接続とその確認をする

Aterm の接続のしかたを説明します。
接続が終わったら電話が使えることを確認します。

2-1. 接続のしかた

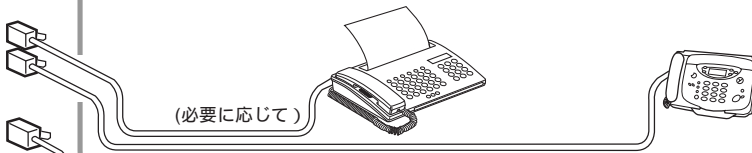
2-1-1. 全体接続図

●電話機やパソコンを接続する

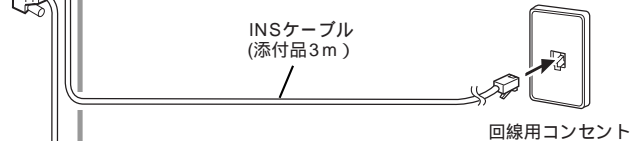
各機器の左上に書かれている番号順に接続してください。

- **落雷およびノイズ対策**
  回線や電源コードから入り込むノイズ(雷等)から装置を保護するためにアース線の接続と別売りの雷防護アダプタ(PC-IT/SP01)のご使用を推奨いたします(アース線は別にご用意ください)。ただし、雷防護アダプタを使用していても落雷の程度によっては、二次災害を防止するための装置内の一部分が破壊される場合があります。落雷などの天災地変による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となりますのであらかじめご了承ください。
- **停電時に Aterm を使うために**
  あらかじめ電池ホルダーに停電用の電池をセットしておくと停電時に電話 A とデータポートに接続されている機器を使うことができます。**☞4-5ページ**

❶ 電話機やファクス／モデムの接続(☞2-4ページ)

停電時でも使いたい電話は電話Aポート(一番下)に接続してください。

(必要に応じて)

❷ INSネット64の接続(☞2-5ページ)

INSケーブル
(添付品3m)

回線用コンセント

❸ パソコンの接続(☞2-5ページ)

(パソコンを接続する方のみ)

RS-232Cケーブル
(添付品1m)

PC98-NX
DOS／V機
の場合

シリアルコネクタ
(COM1) 9ピン

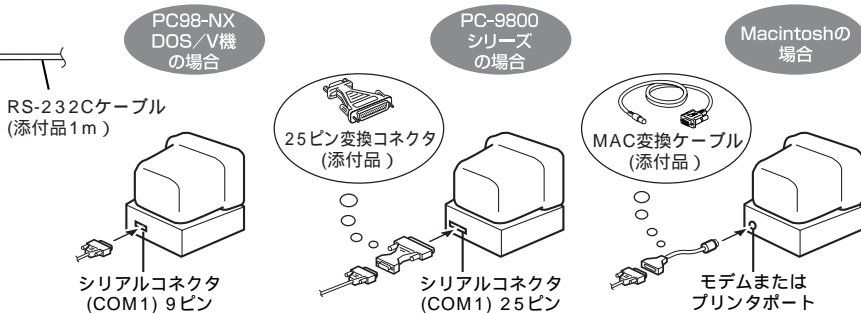
PC-9800
シリーズ
の場合

25ピン変換コネクタ
(添付品)

シリアルコネクタ
(COM1) 25ピン

Macintoshの
場合

MAC変換ケーブル
(添付品)

モデムまたは
プリンタポート

2-1-2. 電話機やファクス / モデムの接続

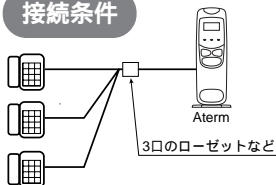
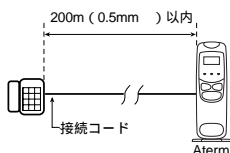
アナログポート電話 A、電話 B に接続できる装置

● **端末審査協会の適合マーク「〶」または「〶」が付いている電話機、G ３ファクス、モデム（アナログ通信機器）などです。**

● **ダイヤル方式が「トーン」（プッシュ）のアナログ通信機器です。**
（「トーン」は「PB」と表示されている場合もあります）

「ダイヤルパルス」と「トーン」（プッシュ）をスイッチで切り替えられる電話機もあります。設定方法は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

今までお使いの電話がプッシュホン契約でない場合は、必ず電話機のダイヤル方式を「トーン」（プッシュ）に切り替えてください。

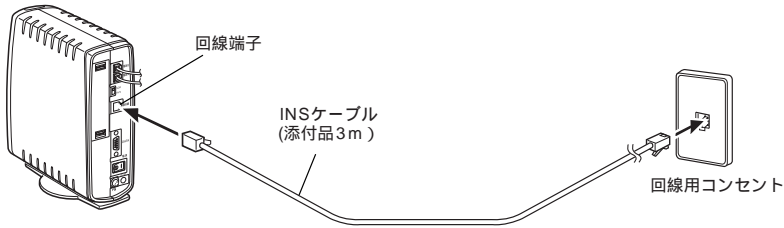
接続条件

- 1つのアナログポートに3台（合計容量：3μF / 2kΩ以下）まで接続（ブランチ接続）できます。
  接続できるものはアナログ網でブランチ接続可能な装置です。
  ただし通話できるのは１台のみになります。

- 接続コードの長さは、太さ0.5mm Φの線を使って200m以内にしてください。
  接続する機器の種類によっては、さらに短くなる場合があります。

- モジュラケーブルや回線ケーブルは、絶対に屋外を通さないでください。雷などによる傷害の原因になります。

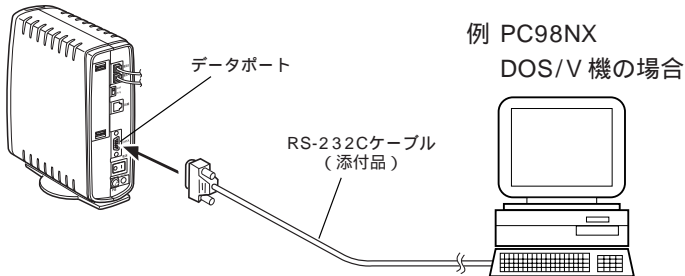
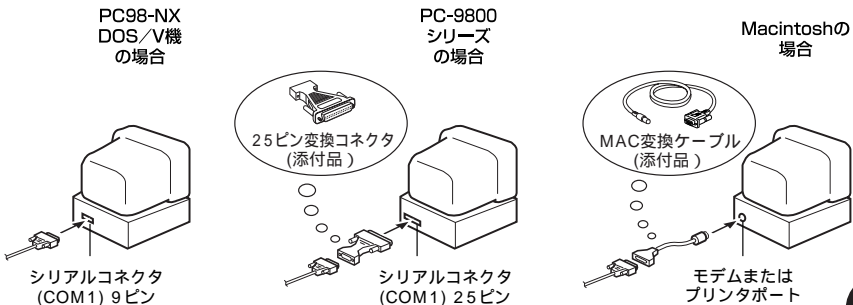
あらかじめ電池ホルダーに停電用の電池をセットしておくと停電時に電話 A に接続されている機器を使うことができます。☞4-5 ページ
停電時でも使いたい電話等は電話 A（一番下）に接続します。

Atermのアナログポートは疑似的にアナログ回線と同等の環境を作り出しており、本当のアナログ回線ではありません。従って、ご使用されているアナログ機器によってはご使用になれない場合もありますのであらかじめご了承ください。

2-1-3. INS ネット 64 の接続

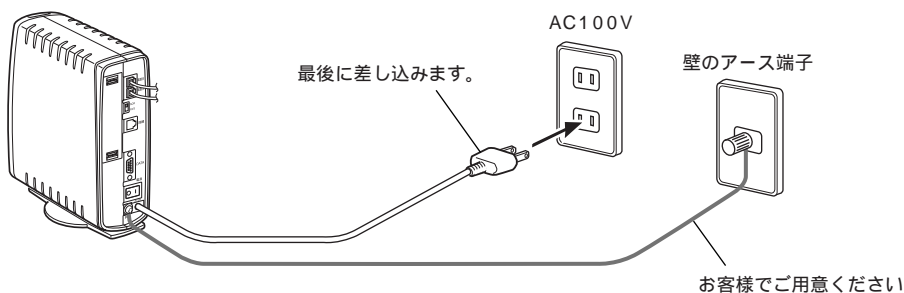
添付の INS ケーブルを使って接続します。Aterm の「回線端子」と INS ネット 64 回線用コンセントを接続します。

添付の INS 回線ケーブルが短いときは、市販の電話機用モジュラーケーブルをお買い求めください。また、回線用コンセントの形状によっては、直接接続できない場合があります。
☞1-7 ページ

2-1-4. パソコンの接続

●接続には、添付の RS-232C ケーブルを必ずご使用ください。

パソコンの種類により使用するケーブルが違います

2-1-5. アースと電源の接続

ステップ1 **Aterm 背面の「アース線接続端子」にアース線を接続します**

アース線は、添付していませんので、あらかじめご用意のうえ、壁や電源コンセントのアース端子に接続してください。アース線は、万一の落雷などの電撃事故が起こった際に人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。

ステップ2 **アナログポートに接続した電話機の受話器が正しく置いてあることを確認したあと Aterm の電源プラグを電源コンセントに接続します**

注意!

電源は、パソコンなどのスイッチと連動しているコンセントに接続しないで、壁などの電源コンセントに接続してください。電源が切られると停電モードになり電池で動作するので、電池を消耗します。

2-2. 電源を入れる

接続がすべて終わったら、アナログポートに接続した通信機器の受話器は置いたままの状態で電源を入れます。Aterm の電源をオンにするときは、背面の電源スイッチの「**I**」側を押します。PWR ランプが緑色に点灯します。

背面の電源スイッチをオンにする
（「I」側を押します）

Aterm の液晶ディスプレイを見て、

```
カイセンショウカ゛イ
レイヤ１ タ゛ ウン
```

と表示されていた場合は、INSネット64回線が正常に接続されていません。下記の手順で接続の確認をしてください。

GOOD!!

Aterm の液晶ディスプレイを見て、

```
１月　１日　　０:００
```

と表示されていれば正常に接続されました。

INS ネット 64 回線接続の確認

回線用コンセントとAtermの接続が確実におこなわれているか？
☞ **2-5 ページで接続を確認してください。**

INS回線リバーススイッチを「RVS」側に切り替えてください。
☞ **1-14 ページをご覧ください。**

INS回線リバーススイッチを「NOR」側に戻し、INSネット64への切り替えが完了しているかをご確認ください。

2-3.電話が使えることを確認する

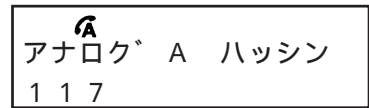
Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1 **Atermに接続した電話機の受話器を上げます**

「ツー」という音が聞こえます。

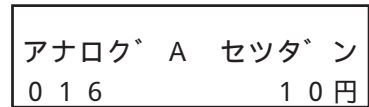
1月　1日　　0：00

Aポートに接続した電話機の受話器をあげた例

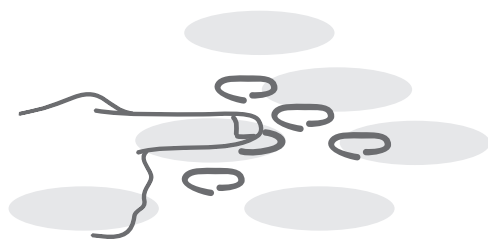
ステップ2 **1 1 7（時報）などをダイヤルし、# を押します**

アナログ゛ A　ハッシン
117

ステップ3 **つながったら、受話器を置きます**

以上でAtermの接続とその確認作業が完了しました。

アナログ゛ A　セツタ゛ン
016　　　　10円

切断理由　　通話料金

つながらないときには…

- **Aポートに接続した電話の受話器をあげた時にAが表示されない場合はAtermと電話機が正しく接続されていないことが考えられます。電話機に添付のケーブルでしっかり接続してください。**
- **ダイヤルしても、「アナログ A ハッシン」が表示されない場合は、電話機の設定がトーン（PB）になっていることを電話機のマニュアルをご覧になって確認してください。**

3 Atermを使えるようにする

（基本設定をする）

パソコンや電話機を使って、基本的な設定をします。
Atermは、電話機だけをアナログポートすべてに接続して
契約者回線番号で同時に呼び出す場合には設定の必要はありません。

設定のしかたには、パソコンを接続している人は
パソコン(Windows98/Windows95 ☞3-2ページ、
Macintosh ☞3-22ページ)を使って、
電話機だけを接続している人は電話機(☞3-38ページ)
を使って設定してください。

3-1.パソコンから設定する

3-1-1.Windows98/Windows95 ユーザの場合

● らくらくウィザードを使う

「IT40 らくらくウィザード」を使って簡単に「基本的な設定」と「インターネットへアクセスするための設定」をおこなうことができます。本書に記載されている順番に従ってお読みください。パソコンの画面はお客様の環境によって異なることがあります。

「らくらくウィザード」をインストールする

ステップ1 **Windows®98/Windows®95がインストールされているパソコンの電源を入れます**

ステップ2 **添付の「AtermIT40/D ユーティリティ集」CD-ROM を CD ドライブにセットします**

案内画面が自動的に表示されます。

CD-ROM を入れてもメニューが表示されないときは、「ファイル名を指定してインストールする」の操作をおこなってください。 ☞**3-10 ページ**

ステップ3 **[らくらくユーティリティ(Windows98/Windows95用のインストール)] ボタンをクリックします**

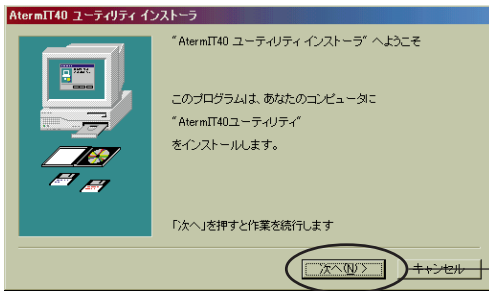
しばらくするとユーティリティインストーラ画面が表示されます。

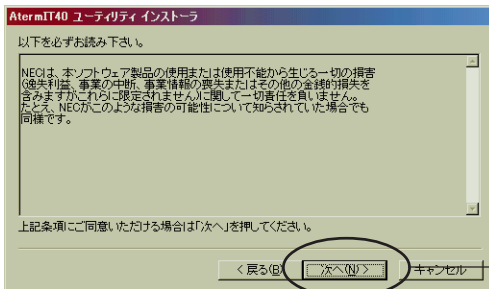
ステップ4 **次へ ボタンをクリックします**

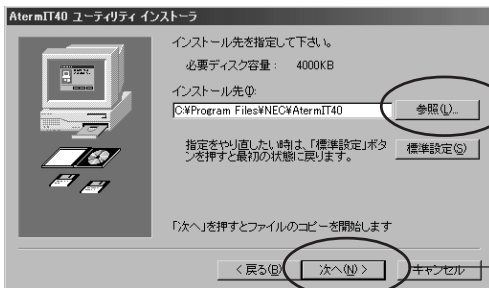
⇒

[次へ] ボタン

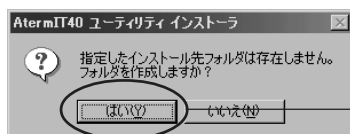
Windows®98 は Microsoft® Windows®98 operating system の略です。
Windows®95 は Microsoft® Windows®95 operating system の略です。

ステップ5 次へ ボタンをクリックします

[次へ] ボタン

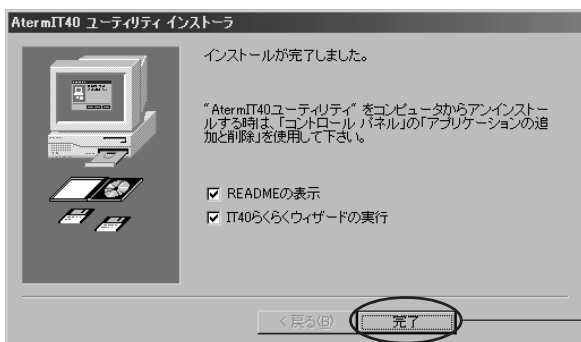
ステップ6 [ユーティリティインストーラ]画面が表示されるので、内容をよくお読みになったあと、同意される場合は、次へ ボタンをクリックします

ステップ7 [ユーティリティインストーラ]画面（インストール先を指定する画面）でインストール先とフォルダ名を決めます

●通常は、このまま 次へ ボタンをクリックします。

インストール先およびフォルダ名を変更するときは、参照 ボタンをクリックし、表示された画面でインストール先を指定します。

― この画面が表示されたとき ―

はい ボタンをクリックします。

インストールが始まります。

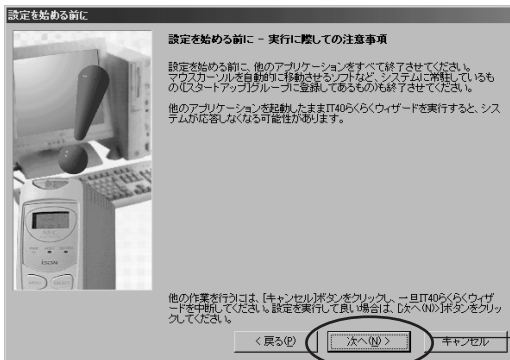
ステップ8 [インストール完了] 画面が表示されます

「IT40 らくらくウィザードの実行」のチェックボックスが ☑ であることを確認してから 完了 ボタンをクリックします。

「READ ME の表示」のチェックボックスが ☑である（チェックされている）と、「IT40 らくらくウィザード」を実行する前にユーティリティに関する説明文が表示されます。

ステップ9 「README」をよくお読みになった後は、クローズボックスをクリックします

らくらくウィザードで設定する

ステップ10 **[IT40らくらくウィザードにようこそ]画面の内容をよくお読みになってから、次へ ボタンをクリックします**

ステップ11 **[設定を始める前に] 画面の内容をよくお読みになってから、次へ ボタンをクリックします**

注意!

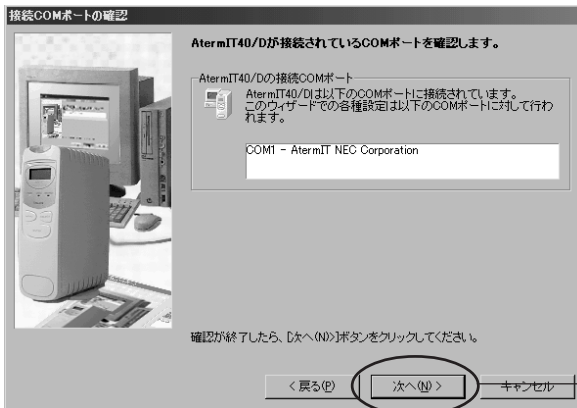
パソコンによっては、動作しなかったり途中で止まる場合があります。その場合は別冊の『お困りのときには』を参照してください。

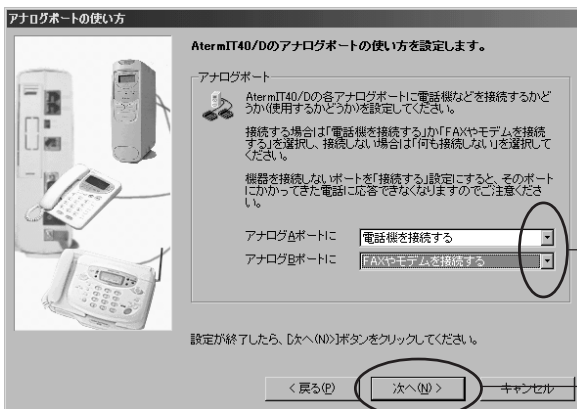
[らくらくウィザード] の設定後に再度 [らくらくウィザード] を起動したい場合は、次の操作をおこなってください。

❶ スタート →「プログラム」→「AtermIT40ユーティリティ」→「IT40 らくらくウィザード」を選択します。
[らくらくウィザードにようこそ] 画面が表示されます。

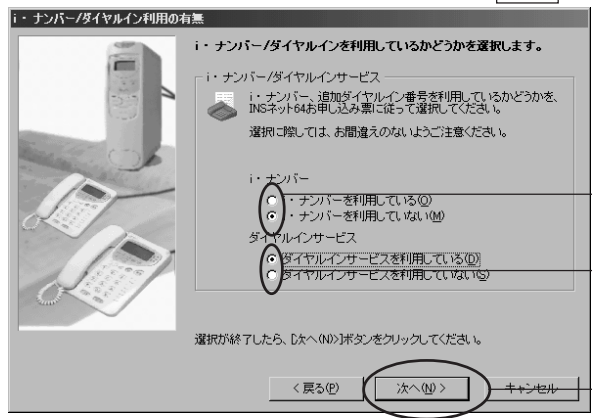
❷ 上記、ステップ 10 からの操作をしてください。

[接続 COM ポートの確認]画面が表示されます

接続されているCOMポートを確認してから 次へ ボタンをクリックします。

ステップ13

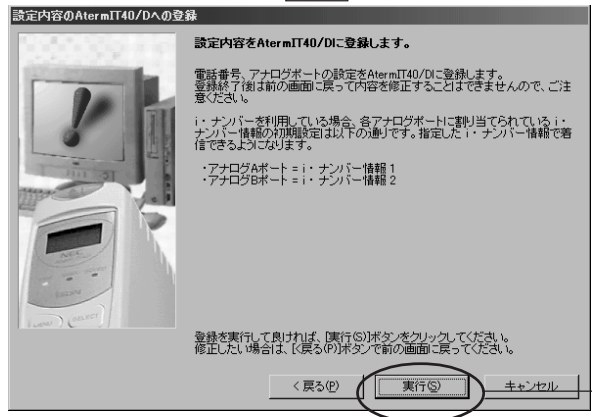
[アナログポートの使い方]画面でアナログポートに接続している機器を設定します

- 電話機を接続しているポートは、[電話機を接続する]を選びます。
- ファクス、ファクス付き電話機、アナログモデムを接続しているポートは、[FAX やモデムを接続する]を選びます。
- 何も接続していないポートには、[何も接続しない（使用しない)]を選びます。

設定が終了したら 次へ ボタンをクリックします。

ステップ14 **[i・ナンバー／ダイヤルイン利用の有無]画面でINSネット64のi・ナンバー／ダイヤルインサービスを利用しているかどうかの契約内容を、「INSネット64お申込票」をご覧になり確認してから選択し、次へ ボタンをクリックします**

ステップ14で［i・ナンバーを利用している］を選択した場合は、ステップ15へ進みます。
ステップ14で［i・ナンバーを利用していない］を選択した場合は、ダイヤルインサービスを利用しているか、利用していないかについて選択し、次へ ボタンをクリックします。ステップ16へ進みます。

ステップ15 **注意事項をお読みのうえ、実行 ボタンをクリックします**

ステップ18へ進みます。

ご使用の前に
接続とその確認をする
Atermを使えるようにする
付録
索引

ステップ16 **[電話番号の設定]画面が表示されます**

画面は「ダイヤルインサービスを利用している」場合の例です。

- INS ネット 64 お申込票のグローバル着信を「利用する」にして契約した場合は、[グローバル着信利用]側を◉にします。
- お申込票のグローバル着信が「利用しない」になっている場合は、[グローバル着信利用しない]側を◉にします。

契約者回線番号とダイヤルイン番号の入力は半角数字を使います。

ダイヤルイン番号が 1 つの場合は、[ダイヤルイン 1 番(1)]の欄に入力します。

入力が終わったら 次へ ボタンをクリックします

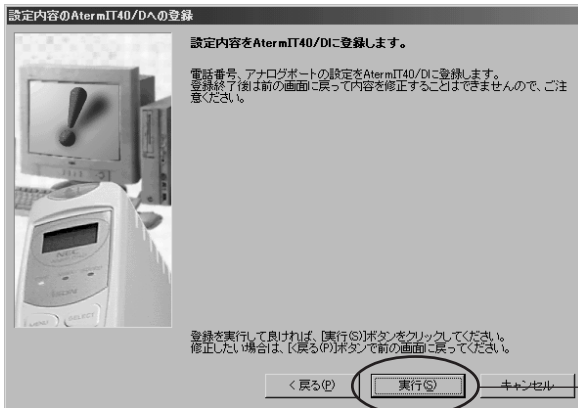
ステップ17 **[電話番号のアナログポートへの登録]画面が表示されます**

この画面では、各アナログポートに電話番号の割り当てをおこないます。

それぞれのアナログポートに割り当てる電話番号をポップアップメニューの中から選びます。

電話番号の割り当てが終わったら 次へ ボタンをクリックします

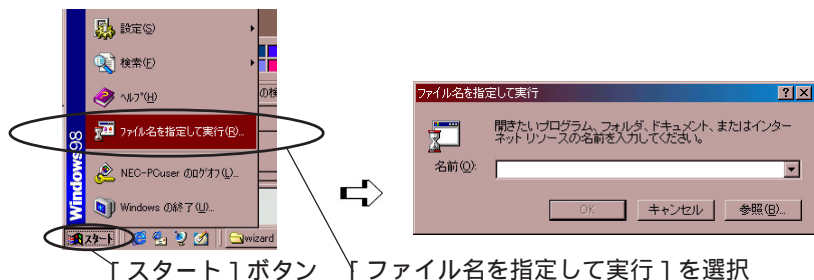
ステップ18 **[設定内容の登録]画面で設定してきたアナログポートの内容をAtermに登録します**

実行 ボタンをクリックし、アナログポートの設定内容を Aterm に登録します

登録が終了すると[アナログポート設定終了] 画面が表示されます。

引き続き 次へ ボタンをクリックします。インターネット接続に関する設定をおこないます。☞**3-11 ページ**
(インターネット接続に関する設定をおこなわない場合も 次へ ボタンをクリックします。)

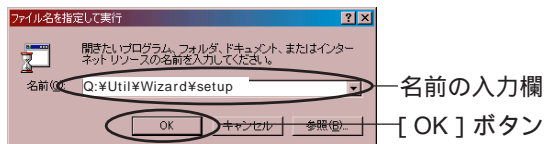
パソコンにCD-ROMを入れてもメニューが表示されなかったとき

ファイル名を指定してインストールする

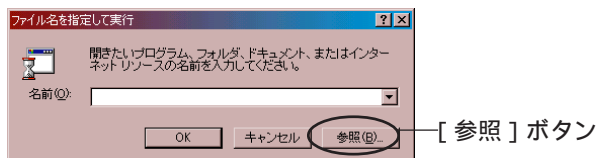
① タスクバーの［スタート］→［ファイル名を指定して実行］の順に選択します

「ファイル名を指定して実行」ダイアログが表示されます。

② 名前の入力欄に、半角文字を次のように入力し、OK ボタンをクリックします

Q:\Util\Wizard\setup

CD-ROMのドライブ名を指定します。

CD-ROMのドライブ名は、パソコンによって異なることがあります。わからないときは、次の操作によりCD-ROMドライブを探すこともできます。

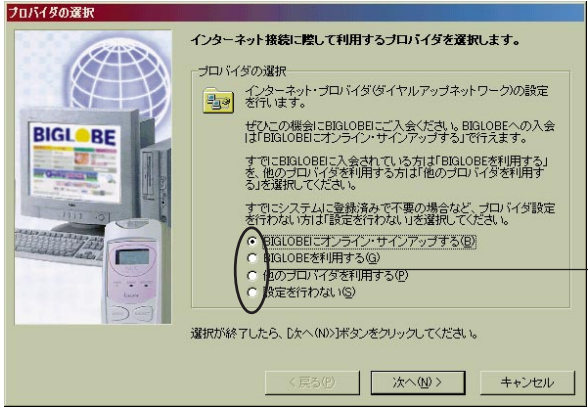
① 参照 ボタンをクリックします

［ファイルの参照］ダイアログが表示されます。

② ファイルの場所 ボタンをプルダウン表示させ、表示されたリストボックスからCD-ROMドライブを選択します。

ドライブ名を確認し、キャンセル ボタンをクリックします。

● インターネット接続に関する設定

[アナログポート設定終了]画面の 次へ ボタンをクリックすると[プロバイダの選択]画面が表示されます。

【プロバイダの選択画面】

ステップ1 **[プロバイダの選択] 画面では、設定するプロバイダの種類を選びます**
インターネット接続に関する設定をおこなわない場合や既に使うパソコンでダイヤルアップの設定をおこなっている場合は、[設定を行わない] を選択します。操作が終了したら、ステップ 2 に進みます。 ☞3-16 ページ

- **[BIGLOBE にオンライン・サインアップをする]** ☞3-12 ページ
- **[BIGLOBE を利用する]** ☞3-12 ページ
- **[他のプロバイダを利用する]** ☞3-13ページ
- **[設定を行わない]** ☞3-16ページ

参考

BIGLOBE とは
インターネットとパソコン通信の垣根をなくしだ“フルコース”プロバイダ「ビッグローブ」。新しいスタイルの情報メディアとして、いま、ネットワーカたちの熱い視線を集めています。

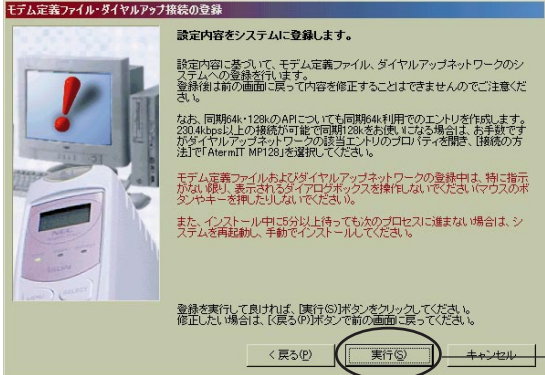
【プロバイダの選択画面】

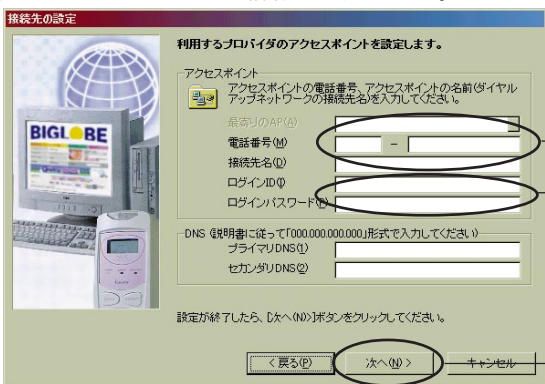
● **プロバイダに未加入でBIGLOBEに加入する場合**
[BIGLOBEにオンライン・サインアップする]を選択して 次へ ボタンをクリックすると、自動的にBIGLOBEとの通信による契約手続きをすることができます。
画面の指示に従って操作していきます。

● **プロバイダに加入済で『BIGLOBE』を利用する場合**
[BIGLOBEを利用する]を選択し 次へ ボタンをクリックすると[接続先の設定]画面が表示されます。アクセスポイントには、[電話番号の設定] 画面で設定した電話番号から最寄りの場所が表示されます。
変更したい場合は、▼ (プルダウンボタン) をクリックして選択してください。お住まいの都市名または、最寄りの都市名を選びます。

次へ ボタンをクリックします
[Outlook Expressへのアカウント登録]画面が表示されます。
Outlook Expressへのアカウントの自動登録をするかしないかを選択できます。登録をおこなう場合は、[Outlook Expressにアカウントを登録する]が ◉ になっていることを確認して、次へ ボタンをクリックします。
[Outlook Expressの設定]画面が表示されます。
プロバイダからの説明書を元に、あなたの名前 (メール差出人)、電子メールアドレス、送信サーバー、受信サーバー、ニュースアカウントを入力します。

次へ ボタンをクリックします

[モデム定義ファイル・ダイヤルアップ接続の登録]画面が表示されます。
実行 ボタンをクリックします。

● **他のプロバイダに加入済の場合**

[他のプロバイダを利用する]を選択すると[接続先の設定] 画面が表示されます。
契約しているプロバイダの情報を入力します。

[電話番号]の欄には、接続するアクセスポイントの電話番号を半角入力します。
[接続先名]の欄には、契約しているプロバイダの名称を入力します。

[接続先名]の欄には、正確にプロバイダの名称を入力する必要はありません。インターネットへ接続するときに使用するダイヤルアップネットワークの名前になります。

ログインIDとログインパスワードを入力します。
[DNS]欄の[プライマリDNS(1)]と[セカンダリDNS(2)]欄は契約しているプロバイダのユーザ情報資料に従って入力してください。

入力が終了したら 次へ ボタンをクリックします

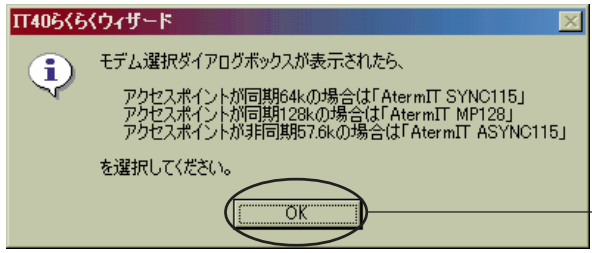
[Outlook Express へのアカウント登録] 画面が表示されます。
Outlook Expressへのアカウントの自動登録をするかしないかを選択できます。登録をおこなう場合は、[Outlook Express にアカウントを登録する] が ◉ になっていることを確認して、次へ ボタンをクリックします。
[Outlook Express の設定]画面が表示されます。
プロバイダからの説明書を元に、あなたの名前（メール差出人)、電子メールアドレス、送信サーバー、受信サーバー、ニュースアカウントを入力します。

送信サーバー、受信サーバーには、一般的には電子メールアドレスの@よりあとを入力しますが、正しくはプロバイダにお問い合わせください。

次へ ボタンをクリックします

[モデム定義ファイル・ダイヤルアップ接続の登録] 画面が表示されます。

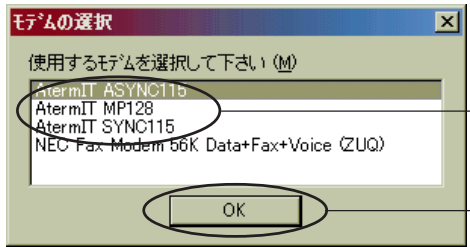
実行 ボタンをクリックします。

モデム選択説明の画面が表示されるので、よくお読みになったあと OK ボタンをクリックします。

[モデムの選択]画面が表示されるので、モデムの種類を選びます。

「AtermIT MP128」：同期 128k の場合
「AtermIT SYNC115」：同期 64k の場合
「AtermIT ASYNC115」：非同期の 57.6k の場合

} プロバイダのアクセスポイントの接続条件によります。

の中から契約しているプロバイダのアクセスポイントの接続条件と同じ種類のモデム（項目）を選択し、 OK ボタンをクリックします。

参考

● AtermIT MP128 を使用する場合

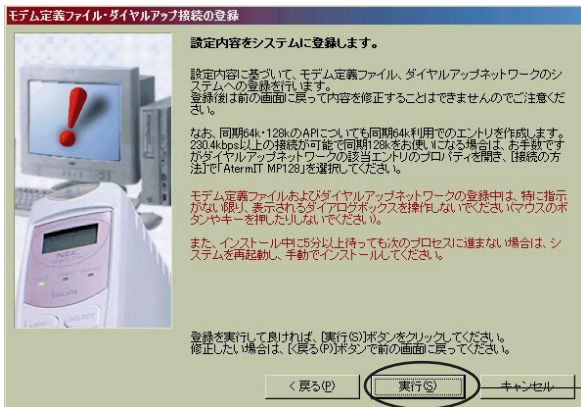
IT40 らくらくユーティリティのデータポート、MP・BOD 機能でスループット BOD の設定をおこなうと、はじめの発信・接続は 64k でおこない、データ量が多くなると 128k になります。

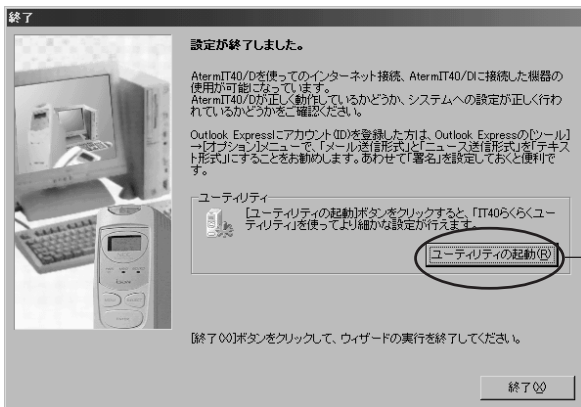
● インターネット接続の設定をおこなわない場合

[設定を行わない]を選択して 次へ ボタンをクリックすると［Outlook Expressへのアカウント登録]画面が表示されます。

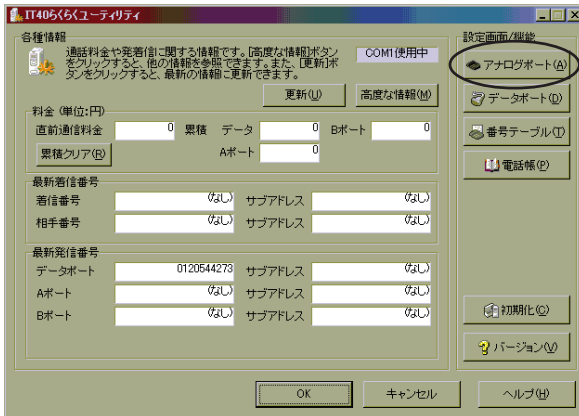
[Outlook Expressにアカウントを登録しない]の ○ をクリックして ◉ にします。

次へ ボタンをクリックします。

［モデム定義ファイルダイヤルアップ接続の登録］画面が表示されます。

実行 ボタンをクリックすると設定はおこなわれずに［終了］画面が表示されます。

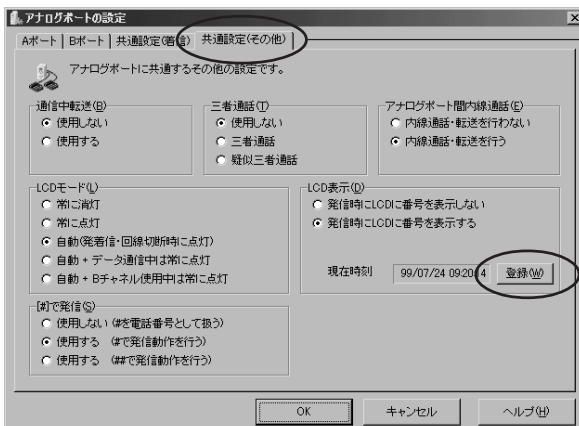
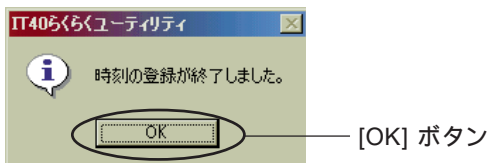
ステップ2 操作終了後、次の画面が表示されたら、ユーティリティの起動 ボタンをクリックして、日付・時刻を設定します

● 日付･時刻を設定する

「IT40 らくらくユーティリティ」を使って、パソコンの日付・時刻に、Aterm の時計を合わせます。
らくらくウィザードの［終了］画面で ユーティリティの起動 ボタンをクリックすると、[IT40 らくらくユーティリティ］画面が表示されます。

ステップ1 アナログポート ボタンをクリックします

「アナログポートの設定」画面が表示されます。

ステップ2 [共通設定(その他)]タグをクリックします

[共通設定(その他)]画面が表示されます。

ステップ3 「LCD 表示」欄の 登録 ボタンをクリックします

ステップ4 **[時刻の登録が終了しました]が表示されます**
OK ボタンをクリックします

パソコンの日付･時刻に Aterm の時計を合わせました。

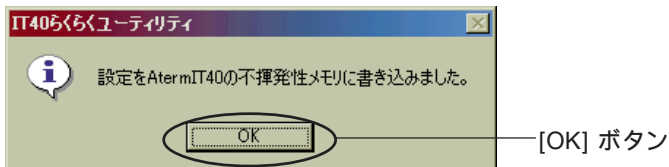
[共通設定（その他)] 画面が表示されます。

ステップ5 **OK ボタンをクリックします**

[IT40 らくらくユーティリティ]画面が表示されます。

ステップ6 **閉じる ボタンをクリックします**

[設定を AtermIT40 の不揮発性メモリに書き込みました] が表示されます。

ステップ7 **OK ボタンをクリックして終了します**

● インターネットへ接続する

プロバイダとの接続を確認する

ここでは、実際にプロバイダのアクセスポイントに電話をかけてインターネットに接続します。

Windows98をお使いの場合でブラウザソフトのアイコンがないとき

Windows98をお使いの場合でデスクトップにブラウザソフトのアイコンがないときは、先に［インターネットエクスプローラ］アイコンを作成します。ブラウザソフト作成後は、デスクトップにアイコンが表示されます。作成は次の手順でおこないます。

① **デスクトップの［インターネットに接続］アイコンをダブルクリックします**

② **「インターネット接続ウィザード」が起動します。表示された画面で、オプション選択をします。一番下の選択肢「既にインターネット接続の設定が…表示しない」の○をクリックして◉にします**

③ **［次へ］ボタンをクリックして終了します**

デスクトップにあった［インターネットに接続］のアイコンが消えて、［Internet Explorer］と［Outlook Express］のアイコンが作成されます。

ステップ1 **［マイコンピュータ］→［ダイヤルアップネットワーク］→IT40らくらくウィザードで設定した接続するプロバイダの名称のついているアイコンをダブルクリックします**

アイコンの名称の［接続］画面が表示されます。

ステップ2 **［ユーザー名］と［パスワード］を入力します**

※［ユーザー名］と［パスワード］は、プロバイダのユーザ設定情報等の資料に従って入力します。
入力には、半角英文字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザー情報等の資料にあわせてください。

参考

［パスワードの保存］のチェックマークを☑にすると、入力したパスワードが保存され、次回から入力する必要がなくなります。

ステップ3 **接続** **ボタンをクリックします**

パソコンからプロバイダに電話をかけ、接続されると［ユーザー名］と［パスワード］の確認がおこなわれます。確認が正常に終了するとプロバイダのホストコンピュータに接続され、パソコンのタスクバーに［ダイヤルアップネットワークモニタ］アイコンができます。

［ダイヤルアップネットワークモニタ］アイコン

ステップ4 **ブラウザソフトを起動します**

[インターネットエクスプローラ]や[ネットスケープナビゲータ]などのアイコンをダブルクリックします。

ステップ5 **見たいホームページのアドレス（URL）（たとえば http://aterm.cplaza.ne.jp）を入力し、リターンキーを押します**

ホームページを見ることができます。

Atermをお買い上げいただいたお客様を対象にユーザ登録をおこなっています。登録していただいたお客様には、Aterm をご使用のお客様へのサービスの一環といたしまして、電子メールによる新製品情報、バージョンアップの案内を中心に、さまざまな情報提供やキャンペーン、イベントなどの特典・サービスを提供して参ります。
是非ユーザ登録をおこなってください。
登録はインターネットホームページ「AtermStation」にておこなっています。

事前にご用意いただくもの

1. **Aterm 本体（機種名、製造番号）**
2. **電子メールアドレス（最も一般的に使用しているアドレス）**
3. **Aterm を使用する ISDN 回線の契約者回線番号**

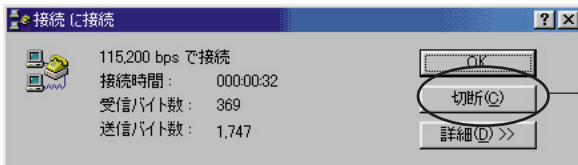
接続を切断するとき

見終わったらファイルメニューから[終了]を選んでブラウザソフトを終了します

タスクバーの [ダイヤルアップネットワークモニタ] アイコンをダブルクリックします

切断 ボタンをクリックします

注意!

切断 ボタンをクリックしないと、ブラウザソフトを終了しても電話はつながったままになっています。
インターネットの接続をやめるときは、必ず[ダイヤルアップネットワーク]画面の 切断 ボタンをクリックしてください。

インターネットの接続が切断されます。

通信回線が正常に切断されると、Atermの液晶ディスプレイに「データセツダン」が約20秒間表示されます。

切断 ボタンをクリックしてもAtermの液晶ディスプレイにデータ通信中のピクトグラム（⇄B1B2）のどちらかが表示されているときは、通信回線がつながったままになっています。そのまま放置すると通信費用がかかり続けます。このようなときは、AtermとINSネット64を接続している回線ケーブルを一度抜いて通信回線を強制的に切断してください。
回線ケーブルを抜くとAtermのすべての通信が切断されるので、他の機器が通信（通話）中ではないことを確認してから回線ケーブルを抜いてください。

Atermのデータポートでは自動発信をする場合、通信相手が話中のときには再発信の回数は最初の発信から3分間で2回以内に制限しています。
この制限をこえる再発信は受け付けません。

3-1-2. Macintosh ユーザの場合

「基本的な設定」を「IT40 らくらくユーティリティ」で、「インターネットへアクセスするための設定」を Macintosh OS に添付の Open Transport PPP を使用しておこないます。

日付・時刻の設定は、電話機からおこなってください。☞**3-37 ページ**

●らくらくユーティリティをインストールする

ステップ1 **Macintosh の電源を入れます**

ステップ2 **添付の「AtermIT40/D ユーティリティ集」CD-ROM を CD ドライブにセットします**

画面に CD-ROM のアイコンが表示されます。

ステップ3 **CD-ROM のアイコンをクリックします**

ステップ4 **「IT40 ユーティリティ」フォルダをハードディスクにコピーします**

ステップ5 **「AtermIT40/D ユーティリティ集」CD-ROM を取り出します**

これでインストールは完了です。

●IT40 らくらくユーティリティの基本操作について

IT40らくらくユーティリティ画面のアイコンやボタンをマウスで操作してAtermの設定をおこないます。各設定画面を開くと Aterm に設定されている値が表示されます。

入力のしかたとボタンについて

画面上の項目の左側に○や◉がある場合は、◉になっている項目が設定値です。
◉をクリックすると○になり、○をクリックすると◉になります。
［　　　　　］になっているところは、［　　　　　］をマウスでクリックし、キーボードから設定値を入力します。
［登録］ボタンをクリックすると設定値を Aterm に登録します。

アナログポート着信中は、［登録］ ボタンをクリックしないでください。クリックすると呼出音が変わることがあります。

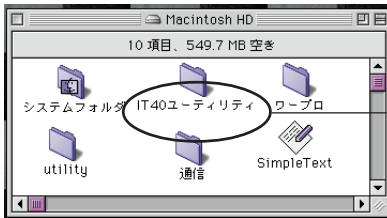
ヘルプボタンについて

画面内の項目の意味を知りたいときには、メニューバーの[ヘルプ]の中から[バルーン表示]を選び、項目の上にポインタを移動します。ポインタを重ねた項目の意味をバルーン表示で解説します。バルーン表示についてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

●らくらくユーティリティで設定する

らくらくユーティリティを使って、アナログポートの設定など基本的な設定をしていきます。

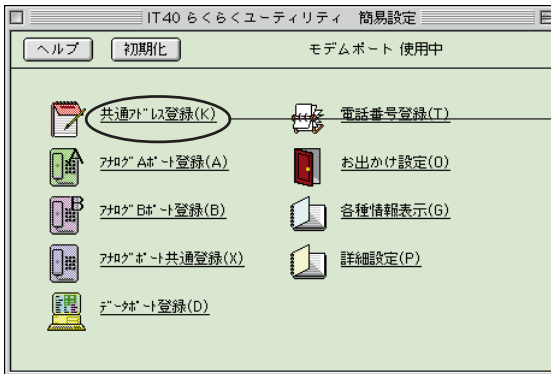
接続しているアナログ機器を使用しているときは 登録 ボタンをクリックしないでください。クリックするとエラーになります。

ステップ1 **ハードディスクにコピーした「IT40 ユーティリティ」フォルダをダブルクリックします**

[IT40ユーティリティ] フォルダをダブルクリックする

ステップ2 **[IT40 らくらくユーティリティ] アイコンをダブルクリックします**

[IT40 らくらくユーティリティ簡易設定]画面が表示されます。

[簡易設定] 画面が表示されないときは（☞**3-26 ページ**）をご覧ください。

ステップ3 **[共通アドレス登録]アイコンをクリックします**

[共通アドレス登録]

[共通アドレス登録]画面が表示されます。

ステップ4 **i・ナンバー契約の有無を選択し、次へ ボタンをクリックします**

i・ナンバーを契約していない場合は、[使用しない］の ○ をクリックして ◉ にします。
ステップ 6 に進みます。

i・ナンバーを契約している場合は、[使用する］の ○ をクリックして ◉ にします。ステップ 5 に進みます。

ステップ5 **INS ネット 64 で契約した i・ナンバーを登録します**

i・ナンバー情報の電話番号欄にそれぞれの電話番号を入力し、着信するポートを選択します。「着信ポート」の □ をクリックして ☑ にします。

設定が終わったら 登録 ボタンをクリックします。

[らくらくユーティリティ簡易設定］画面に戻ります。

ステップ 7 に進みます。

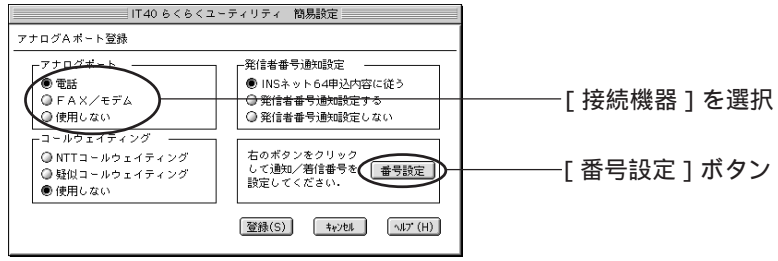
ステップ6 **INS ネット 64 で契約した電話番号を登録します**

「契約者回線番号のグローバル着信を使用する」か「使用しない」かと電話番号の登録をします。INS ネット 64 のお申込票と同じ内容を設定してください。

電話番号を登録するときは、登録する No. をクリックした後に電話番号を入力します。電話番号の入力には、半角数字を使います。
設定 ボタンをクリックします。
電話番号の登録が終わったら、登録 ボタンをクリックします。
[らくらくユーティリティ簡易設定]画面に戻ります。

[アナログ A ポート登録]アイコンをクリックします

（ここではアナログ A ポートの登録をおこなう場合を例として説明します。アナログ B ポートを設定する場合は、読み替えておこなってください。）

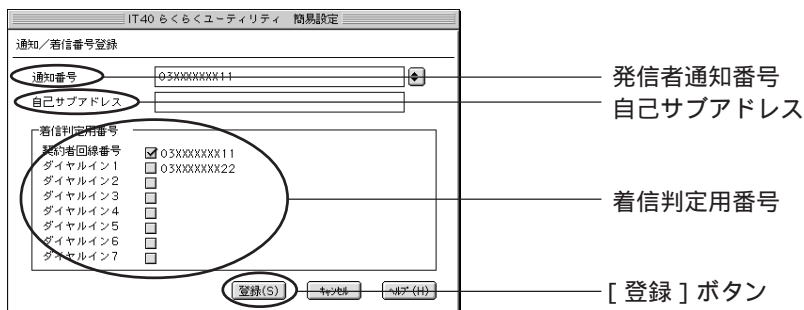
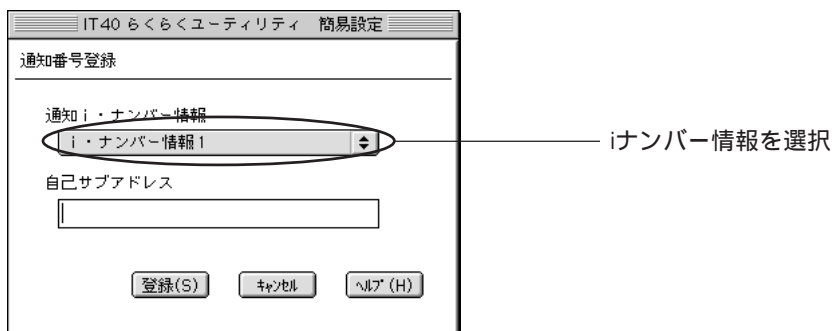
[アナログ A ポート登録]画面が表示されます。アナログ A ポートに接続した機器を選択します。

- 電話機を接続しているポートは、［電話］を選びます。
- ファクス、ファクス付き電話機、アナログモデムを接続しているポートは、［FAX/ モデム］を選びます。
- 何も接続していないポートには、［使用しない］を選びます。

番号設定 ボタンをクリックします

[契約者回線番号またはダイヤルイン番号の場合]

（発信者）通知番号は、自分から電話をかけたときに、相手に通知される電話番号を指定します。

着信判定用番号は、共通アドレス登録で登録した電話番号から □ をクリックして☑ にして選択します。

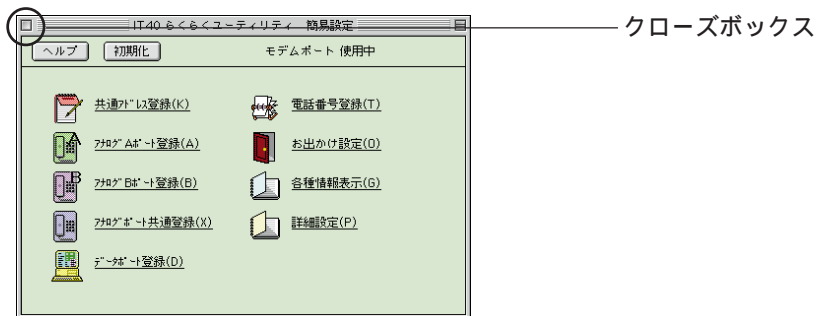
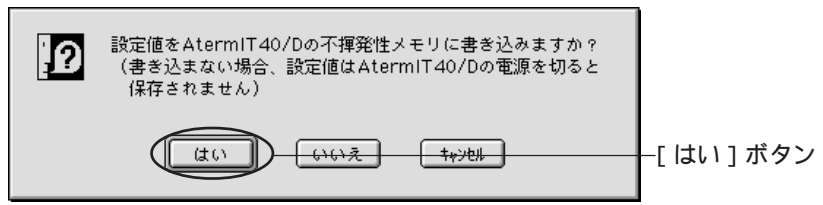
図の例では、03XXXXXX11 と 03XXXXXX22 のいずれの電話番号への着信でも電話機の呼出音が鳴ります。

[i・ナンバーの場合]

相手に通知する電話番号をｉ・ナンバー情報 1,2 から選択します。

設定が終わったら、登録 ボタンをクリックします。

［アナログ A ポート登録］画面に戻ります。

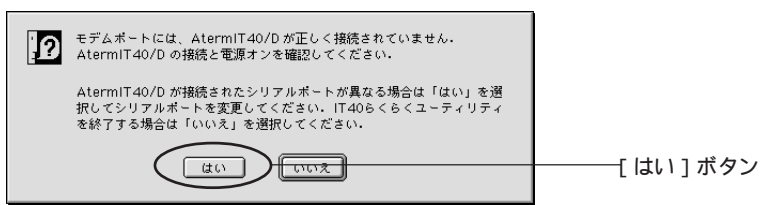
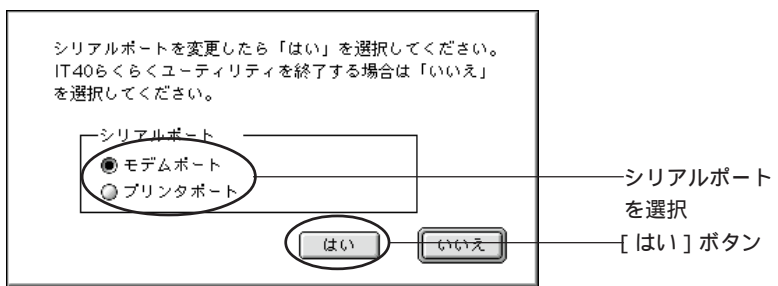
ステップ9 **［アナログ A ポート登録］画面の 登録 ボタンをクリックします。**

[らくらくユーティリティ簡易設定]画面に戻ります。

ステップ10 **[らくらくユーティリティ簡易設定]画面のクローズボックスをクリックします**

ステップ11 **[設定値をAtermIT40/Dの不揮発性メモリに書き込みますか？]が表示されるので、はい ボタンをクリックします**

Atermの不揮発性メモリに設定内容が登録されます。
Atermの電源を切っても設定した内容が残ります。
これで、IT40らくらくユーティリティを使った基本的な設定は終了です。

[簡易設定] メニュー画面が表示されないとき

「モデムポートには、AtermIT40/Dが正しく接続されていません・・・」が表示されたとき

ステップ1 **Atermの電源が入っていることと、Macintoshとの接続ケーブルが正しく接続されていることを確認して はい ボタンをクリックします**

ステップ2 **Atermと接続しているMacintoshのシリアルポートを選び、はい ボタンをクリックします**

● インターネット接続に関する設定

OT-PPP(Open Transport PPP) の設定をする

インターネットの接続に必要な設定をおこないます。

- TCP/IP
- モデム
- PPP

の設定をします。

インターネットに接続するには、あらかじめプロバイダとの契約が必要です。
プロバイダからのユーザ情報設定等の資料をもとに設定していきます。
ここでは、Mac OS 7.6 以上に添付されている **Open Transport PPP** を使って接続をする場合の設定について説明します。
フリーウェアの「FreePPP」等を使って接続する場合の設定については、別冊の『お困りのときには』の「2. インターネットの手動設定のしかた」の 2-3 項をご覧ください。

	漢字Talk7.5以上	Mac OS 7.6以上
TCP／IP ソフトウェア	Macintoshに添付のCD-ROMからカスタムインストールでインストールします。	Apple Internetスタータキットと Open Transport PPPが添付されています。
PPP モジュール	雑誌などに添付のCD-ROMからFreePPP等のPPPモジュールを入手します。	

●システムソフトウェアが漢字 Talk 7.5 以上の場合

- TCP/IP ソフトウェアが添付されています。アップルメニューを開き、コントロールパネルの中にTCP/IPが入っていることを確認してください。入っていない場合は、Macintoshに添付のCD-ROMからTCP/IPソフトウェアをカスタムインストールでインストールしてください。
- PPP モジュールは、FreePPP がフリーソフトウェアとして入手しやすいので、雑誌などに添付されている CD-ROM から入手してください。
- Mac OS 7.6以上の場合OT-PPPが標準添付されています。アップルメニューのコントロールパネルの中に PPP が入っていないときは、Macintosh に添付の CD-ROM からカスタムインストールしてください。

●システムソフトウェアが Mac OS 8 の場合

- CD-ROM の［CCL ファイル］に入っている CCL ファイルを、Macintosh［システム］フォルダの中の［機能拡張］フォルダにある［Modem Scripts］フォルダに入れます。
  同じ名前の古いファイルがある場合は、上書きをして入れ替えます。

Performa シリーズをお使いの方に

- コントロールパネルの機能拡張マネージャで［A/ROSE］のチェックマークをはずさないとソフトウェアが動作しない場合があります。
  チェックのはずしかたは、Macintosh の取扱説明書をご覧ください。
- モデム内蔵の機種をお使いの場合は、コントロールパネルの機能拡張マネージャで内蔵モデム関係のチェックをはずさないと、モデムポートが働かない場合があります。詳細は、アップルカスタマーアシスタンスセンターにお問い合わせいただくか、モデムポートの代わりにプリンタポートをご使用ください。

TCP/IP の設定をする

プロバイダに接続するための条件などを設定します。

メニューバーのアップルマーク（ ）をクリックし、[コントロールパネル]をクリックします

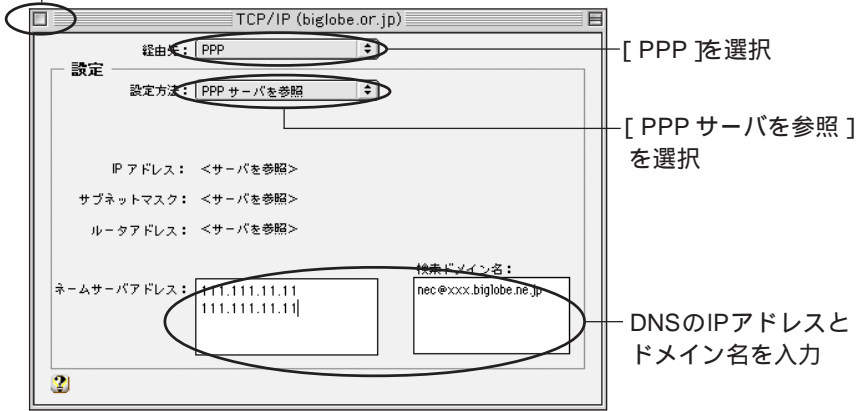
［コントロールパネル］画面が表示されます。

［TCP/IP］アイコン

をダブルクリックします

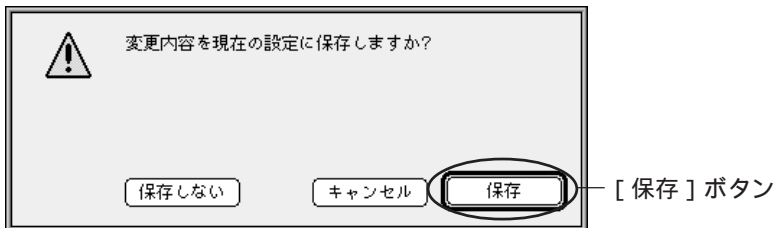
［TCP/IP］画面が表示されます。

ステップ3 **TCP/IP を設定します**

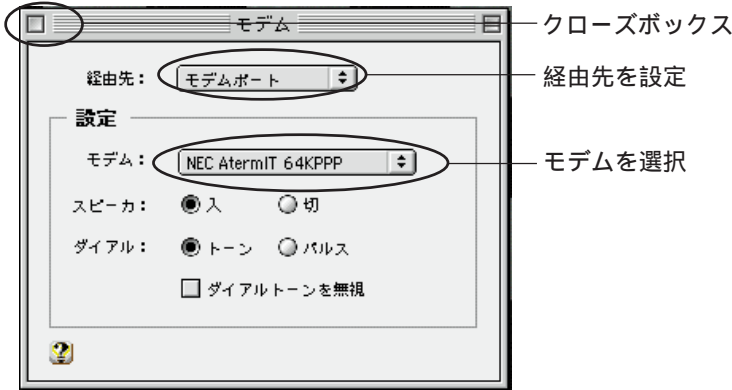
① [経由先]のプルダウンメニューから[PPP]を選びます。
② [設定方法]のプルダウンメニューから[PPP サーバを参照]を選びます。
③ [ネームサーバアドレス]欄にプロバイダからのユーザ情報等の資料を参照して DNS の IP アドレスを入力します。
一行目にプライマリを入力し、二行目にセカンダリを入力します。
[検索ドメイン名]欄にプロバイダからのユーザ情報等の資料を参照してドメイン名を入力します。
入力には半角英数字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザ設定情報等の資料にあわせてください。

ステップ4 **TCP/IPの設定が終了したら、［TCP/IP］画面のクローズボックスをクリックします**

モデムの設定をしないときは、クローズボックスをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

ステップ5 **保存 ボタンをクリックします**

TCP/IP の設定が終了しました。

モデムの設定をする

ステップ1 **メニューバーの［コントロールパネル］を選択し、［コントロールパネル］の中の［モデム］アイコンをダブルクリックします**

［モデム］画面が表示されます。

ステップ2 **［経由先］のプルダウンメニューから［モデムポート］を選びます**

Macintoshのプリンタポートに Aterm を接続しているときは、[プリンタポート]を選びます。

ステップ3 **[モデム]のプルダウンメニューからモデムの種類を選びます**

インターネットプロバイダのアクセスポイント接続条件によって選ぶモデムが異なります。

プロバイダからのユーザ設定情報等の資料を参照して設定してください。

アクセスポイントの条件	モデム
非同期 57.6K	NEC AtermIT 57.6K
同期 128K	NEC AtermIT MP
同期 64K	NEC AtermIT 64KPPP
PIAFS 32K	NEC AtermIT 32KPIAFS
PIAFS 64K	NEC AtermIT 64KPIAFS

ステップ4 **設定が終了したら、クローズボックスをクリックします**

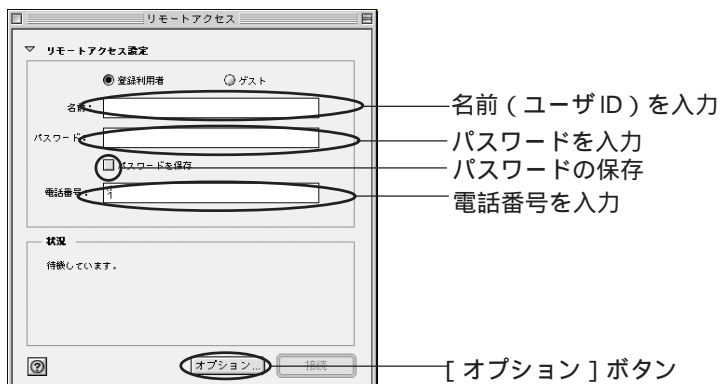
ステップ5 **保存 ボタンをクリックします**

モデムの設定が終了しました。

リモートアクセス（または PPP）の設定をする

ここでは、リモートアクセス（Mac OS8.5）を例として説明します。
Mac OS8.0をお使いの場合は、リモートアクセスをPPPに置き換えてお読みください。

メニューバーのアップルマーク（ ）をクリックし、[コントロールパネル]の中の[リモートアクセス]（PPP）を開きます

[リモートアクセス]（PPP）画面が表示されます。

ステップ2 **[リモートアクセス]（PPP）の設定をします**

① [登録利用者]が ◉ になっていることを確認します。
[登録利用者]が ◉ になっていないときは、クリックして ◉ にします。

② [名前]（ユーザ ID）欄にユーザ ID を入力します。
プロバイダからのユーザ情報等の資料を参照して入力してください。
入力するには、半角英文字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザ情報等の資料にあわせてください。

③ [パスワード]欄にパスワードを入力します。
プロバイダからのユーザ情報等の資料を参照して入力してください。
入力には、半角英文字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザ情報等の資料にあわせてください。

④ [パスワードを保存]にチェックマークをクリックして ☑ にします。
チェックマークを ☑ にしておくと、次回以降パスワードを入力する必要がなくなります。

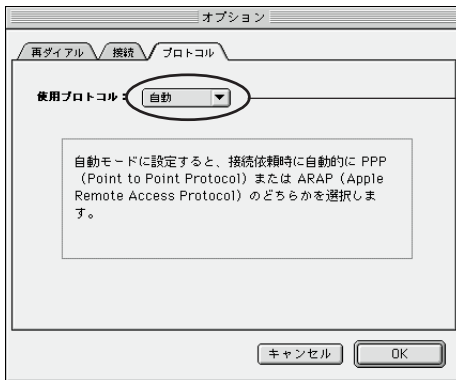
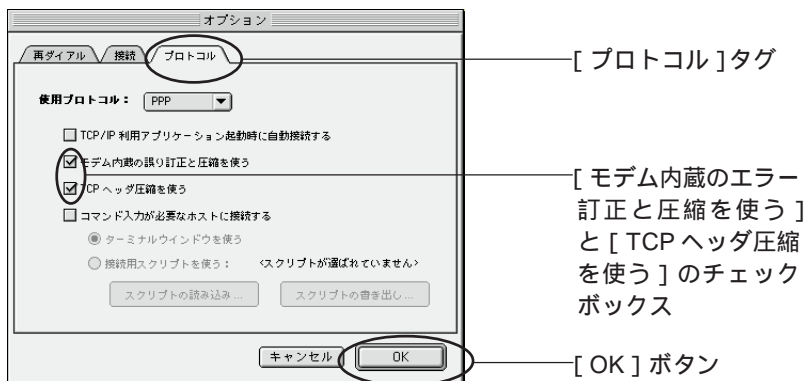
⑤ [電話番号]欄にプロバイダの最寄りのアクセスポイントの電話番号を入力します。
入力には半角数字を使います。

ステップ3 **設定が終了したら オプション ボタンをクリックします**

[オプション]画面が表示されます。

ステップ4 **[オプション]画面の[接続]タグをクリックします**

[操作しないまま 10 分間が過ぎたら接続を切る]の欄のチェックマークが ☑ になっていることを確認します。
☐ になっていないときは、クリックしてチェックマークを ☑ にします。

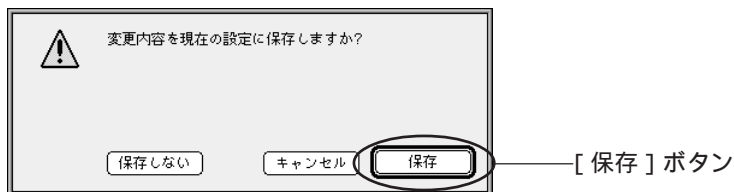
ステップ5 **[オプション]画面の[プロトコル]タグをクリックします**

［使用プロトコル］が［自動］になっていることを確認します。
［使用プロトコル］を［自動］にした場合で、接続がうまくいかないときは、▼をクリックして［PPP］を選択します。次ページの画面が表示されます。

[モデム内蔵のエラー訂正と圧縮を使う]、[TCPヘッダ圧縮を使う]の欄のチェックマークが ☑ になっていることを確認します。

ステップ6　[オプション]画面の OK ボタンをクリックします

[リモートアクセス]（PPP）画面に戻ります。

ステップ7　[リモートアクセス]（PPP）画面のクローズボックスをクリックします

ステップ8　保存 ボタンをクリックします

[リモートアクセス]（PPP）の設定が終了しました。

● インターネットへ接続する

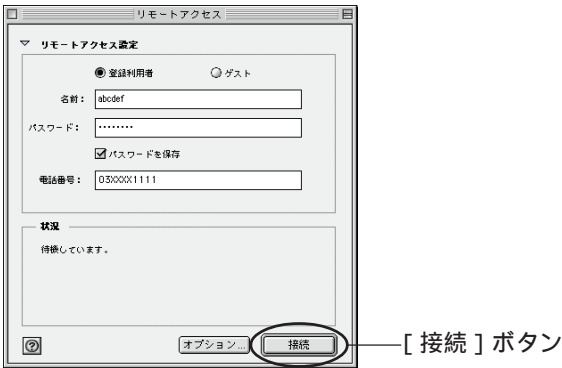
プロバイダとの接続を確認する

ここでは実際にプロバイダのアクセスポイントに電話をかけてインターネットに接続します。画面は、Mac OS8.5 の例です。

ステップ1 **メニューバーのアップルマーク（ ）をクリックし、[コントロールパネル]の中の[リモートアクセス]（PPP）を開きます**

[リモートアクセス]（PPP）画面が表示されます。

ステップ2 **接続 ボタンをクリックします**

[接続] ボタン

パソコンからプロバイダに電話をかけ、つながると[名前]（ユーザID）と[パスワード]の確認がおこなわれます。確認が終了するとプロバイダのホストコンピュータに接続されます。

[リモートアクセス]（PPP）画面はつぎのようになります。

ステップ3 **ブラウザソフトを起動します**

「インターネットエクスプローラ」や「ネットスケープナビゲータ」などのアイコンをダブルクリックします。

ステップ4 **見たいホームページのアドレス(URL)(たとえばhttp://aterm.cplaza.ne.jp)を入力し、リターンキーを押します**

ホームページを見ることができます。

参考

Atermをお買い上げいただいたお客様を対象にユーザ登録をおこなっています。
登録していただいたお客様には、Aterm をご使用のお客様へのサービスの一環といたしまして、電子メールによる新製品情報、バージョンアップの案内を中心に、さまざまな情報提供やキャンペーン、イベントなどの特典・サービスを提供して参ります。
是非ユーザ登録をおこなってください。
登録はインターネットホームページ「AtermStation」にておこなっています。

事前にご用意いただくもの

1. **Aterm 本体（機種名、製造番号）**
2. **電子メールアドレス（最も一般的に使用しているアドレス）**
3. **Aterm を使用する ISDN 回線の契約者回線番号**

接続を切断するとき

見終わったら、ファイルメニューから[終了]を選んでブラウザソフトを終了します

ステップ2

[リモートアクセス](PPP)画面の接続を切るボタンをクリックしてから、クローズボックスをクリックします

接続を切るボタンをクリックしないと、ブラウザソフトを終了しても電話はつながったままになっています。

インターネットの接続をやめるときは、必ず 接続を切る ボタンをクリックしてください。

インターネットの接続が切断されます。

通信回線が正常に切断されると、Atermの液晶ディスプレイに「データセツダン」が約20秒間表示されます。

接続を切るボタンをクリックしてもAtermの液晶ディスプレイにデータ通信中のピクトグラム(⇄B1B2)のどちらかが表示されているときは、通信回線がつながったままになっています。そのまま放置すると通信費用がかかり続けます。このようなときは、AtermとINSネット64を接続している回線ケーブルを一度抜いて通信回線を強制的に切断してください。
回線ケーブルを抜くとAtermのすべての通信が切断されるので、他の機器が通信(通話)中ではないことを確認してから回線ケーブルを抜いてください。

Atermのデータポートでは自動発信をする場合、通信相手が話し中のときには再発信の回数は最初の発信から3分間で2回以内に制限しています。この制限をこえる再発信は受付けません。

3-2.電話機から設定する(らくらくテレホン設定)

（1） 日付・時刻を設定する

Atermの液晶ディスプレイに表示する月、日、時、分の設定をおこないます。Atermの液晶ディスプレイを見ながら、接続した電話機で操作してください。

Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1 **受話器をあげます**
接続してある電話機のどれからでも設定できます。

１月　１日　　０：００

ステップ2 **【*】【*】【1】【*】と押します**

セッテイホ゜ートセンタク

ステップ3 **【9】を押します**

シ゛コク　セッテイ

ステップ4 **【*】を押します**

９８年０１月０１日
００：００

ステップ5 **年、月、日、時、分の順に入力します**
年は、西暦の下2桁を入力します。
月、日、時、分、が1桁の場合は、0も入力します。
例：1998年12月1日10時10分の場合
【9】【8】【1】【2】【0】【1】【1】【0】【1】【0】と入力します。
● 【*】を押すと入力場所がスキップします。

ステップ6 **【#】を押します**

９８年１２月０１日
１０：１０

5秒後

１２月　１日　１０：１０

ステップ7 **受話器を置きます**
● 入力の途中で受話器を置くと設定がキャンセルされます。

参考

カレンダの代わりに機種名を表示させることができます。
受話器をあげて次の操作をします。

Atermの液晶ディスプレイ

● **「カレンダ」を表示させる場合**
【*】【*】【8】【1】【1】を押します。

アイト゛ルヒョウシ゛
１：トケイ

● **「機種名」を表示させる場合**
【*】【*】【8】【1】【0】を押します。

アイト゛ルヒョウシ゛
０：Ａｔｅｒｍ

（2）使用ポートと接続機器を設定する

各アナログポートに接続している機器の種類を設定します。
なにも接続しないアナログポートは、必ず「使用しない」に設定してください。

Aterm の液晶ディスプレイ

ステップ1 **受話器をあげます**

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

12月　1日　10：10

ステップ2 **【*】【*】【1】【*】を押します**

セッテイホ゜ートセンタク

注意！
「ポートシヨウチュウ　セッテイフカ」と表示されたときは、通話中または通信中で設定ができません。通話や通信を終わらせてから再度操作してください。

ステップ3 **設定するポート番号を押します**
アナログ A ポート →【1】を押す
アナログ B ポート →【2】を押す

アナログ゛ A　ニセッテイ

【1】を押したとき

ステップ4 **【*】【0】【1】【*】　と押します**

アナログ゛ ソウチ
0：デ゛ンワ

ステップ5 **接続している機器の番号を押します**
電話機→【0】を押す
ファクスまたはファクス付電話機、モデム
→【1】を押す
機器を接続しない→【2】を押す

アナログ゛ ソウチ
0：デ゛ンワ

【0】を押したとき

※ 表示している内容を変更しないときは、ステップ 6 へ進んで下さい。

ステップ6 **【#】を押します**

セッテイホ゜ートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ 3 からの操作をくり返してください。

ステップ7 **【#】を押します**

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

約 5 秒間表示します

ステップ8 **受話器を置きます**

（3）発信者通知番号を設定する

① i・ナンバー契約の場合

電話をかけたときに相手に通知するi・ナンバー電話番号（発信者通知番号）を各アナログポートで設定します。
i・ナンバーを契約していない方は、設定の必要はありません。

Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1 **受話器をあげます**

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

Ａ
１２月　１日　１０：１０

ステップ2 **【*】【*】【1】【*】と押します**

Ａ
セッテイホ゜ートセンタク

ステップ3 **設定するポート番号を押します**

アナログＡポート →【1】を押す
アナログＢポート →【2】を押す

Ａ
アナログ゛ Ｂ ニセッテイ

【2】を押したとき

ステップ4 **【*】【9】【5】と押します**

Ａ
ハツｉ・ナンバ゛ー
Ｎｏ．１

ステップ5 **設定値を入力する／しないを選択します**

設定値を入力する場合は、【*】を押します。表示されている設定値を変更しない場合は、ここで【*】を押さずにステップ7へ進んでください。

ステップ6 **通知する発信番号（i・ナンバー情報）を押します**

i・ナンバー情報 1→【1】を押す
i・ナンバー情報 2→【2】を押す

ステップ7 **【#】を押します**

Ａ
セッテイホ゜ートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8 **【#】を押します**

これで設定は終了しました。

Ａ
セッテイシマシタ

約5秒間表示します

ステップ9 **受話器を置きます**

② ダイヤルインサービス契約の場合

電話をかけたときに相手に通知する電話番号（発信者通知番号）を各アナログポートで設定します。

Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1 **受話器をあげます**

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

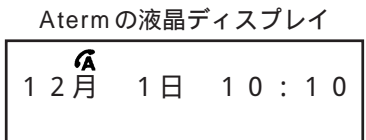
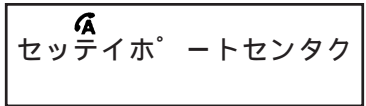
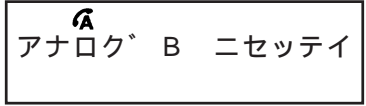
１２月　１日　１０：１０

ステップ2 **【*】【*】【1】【*】と押します**

セッテイホ゜ートセンタク

ステップ3 **設定するポート番号を押します**

アナログ A ポート →【1】を押す
アナログ B ポート →【2】を押す

アナログ゛ B　ニセッテイ

【2】を押したとき

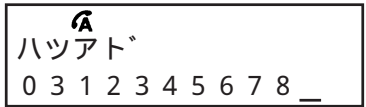
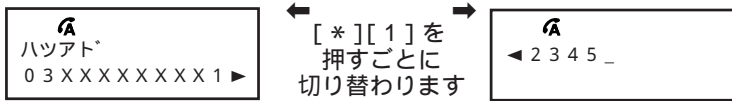
ステップ4 **【*】【9】【2】と押します**

ステップ5 **設定値を入力する／しないを選択します**

設定値を入力する場合は、【*】を押します。
表示されている設定値を変更しない場合は、ここで【*】を押さずにステップ 7 へ進んでください。

ステップ6 **電話番号を押します**

例： 03-1234-5678 のときは、
0312345678 と押します。

ハツアト゛
０３１２３４５６７８_

・電話番号を間違えて入力したとき
［*］［*］を押すと、入力した最後尾の1文字を削除できます。
・12桁以上の番号を入力したとき
12桁目を入力すると、先頭に◄が付いて画面が切り替わります。
この状態で［*］［1］を押すと、末尾に►が付き、1桁目から11桁目までの表示に戻ります。
もう一度［*］［1］を押すと、12桁目を入力したときの画面に戻ります。
例．電話番号：03XXXXXXXX12345

［*］［1］を押すごとに切り替わります

◄2345_

【#】を押します

セッテイホ゜ートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

【#】を押します

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

約5秒間表示します

ステップ9 **受話器を置きます**

（4）アナログポートを別々の電話番号で呼び分ける

① i・ナンバー契約の場合

（1）～（3）項を順番に設定してください。

（1）電話番号を登録する

INSネット64で契約している電話番号（i・ナンバー情報）を登録します。登録した電話番号は、「(2) 呼び出す電話番号（i・ナンバー）を割り当てる」(☞**3-45ページ**)で各ポートの割り当てをおこないます。

Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1 **受話器をあげます**

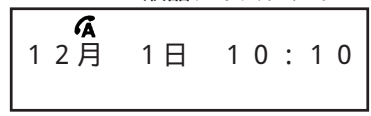
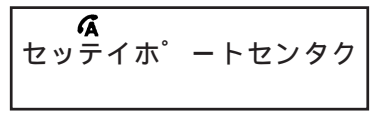
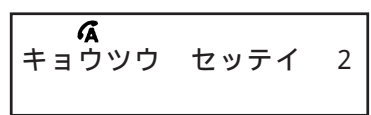
接続してある電話機のどれからでも設定できます。

12月　1日　10：10

ステップ2 **【*】【*】【1】【*】と押します**

セッテイポ゜ートセンタク

ステップ3 **【5】を押します**

キョウツウ　セッテイ　2

ステップ4 **【*】【9】【0】【1】と押します**

(【1】には、i・ナンバー情報1を登録します。)

i・ナンバー情報2を登録するには、【1】部分を［2］と変更します。

ステップ5 **【*】【電話番号】を押します**

例：03-1234-5678のときは、
　　0312345678と押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ1：
0312345678_

※ 表示されている電話番号を変更しない場合は、ここで【*】を押さずに【#】を押します→ステップ6の操作をしたことになります。
間違えて入力したときは、「参考」を参照してください。☞ **3-42ページ**

ステップ6 **【#】を押します**

内線指定番号は、アナログ・ダイヤルインで使用します。ここではアナログ・ダイヤルインの設定をおこなわないため入力しません。

i・ナイセンシテイ　1：
■

ステップ7 **【#】を押します**

セッテイポ゜ートセンタク

他のi・ナンバーを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8 **【#】を押します**

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

約5秒間表示します

ステップ9 **受話器を置きます**

（2）呼び出す電話番号（i・ナンバー）を割り当てる

かかってきた電話番号（i・ナンバー情報）でどのアナログポートの呼出音を鳴らすかを設定します。1つのポートに2個の電話番号（i・ナンバー情報）を割り当てることができます。

Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1 **受話器をあげます**

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

12月　1日　10：10

ステップ2 **【*】【*】【1】【*】と押します**

セッテイホ゜ートセンタク

ステップ3 **設定するポート番号を押します**

アナログAポート →【1】を押す
アナログBポート →【2】を押す

アナログ゛ A　ニセッテイ

【1】を押したとき

ステップ4 **【*】【9】【4】と押します**

チャクi・ナンバ゛ー
No.1

ステップ5 **【*】を押します**

チャクi・ナンバ゛ー
No._

ステップ6 **着信するi・ナンバー情報を押します**

i・ナンバー情報 1→【1】を押す
i・ナンバー情報 2→【2】を押す

チャクi・ナンバ゛ー
No.1,_

ステップ7 **【#】を押します**

セッテイホ゜ートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8 **【#】を押します**

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

約5秒間表示します

ステップ9 **受話器を置きます**

（3）i・ナンバー着信選択を設定する

i・ナンバー情報を「i・ナンバーを使用する」に設定します。

Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1 **受話器をあげます**

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

12月　1日　10：10

ステップ2 **【*】【*】【1】【*】と押します**

セッテイポ゜ートセンタク

ステップ3 **【4】を押します**

キョウツウ　セッテイ　1

ステップ4 **【*】【7】【6】【*】と押します**

i・ナンバ゛ー
0：シナイ

ステップ5 **i・ナンバーを使用する / しないを設定します**

使用しない　：【0】を押す
使用する　　：【1】を押す

i・ナンバ゛ー
1：スル

【1】を押したとき

ステップ6 **【#】を押します**

セッテイポ゜ートセンタク

ステップ7 **【#】を押します**

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

約5秒間表示します

ステップ8 **受話器を置きます**

② ダイヤルインサービス契約の場合

（1）～（3）項を順番に設定してください。

（1）電話番号を登録する

INS ネット 64 で契約している電話番号をリスト 0 ～ 7 に登録します。登録したリスト（電話番号）は、「（2）呼び出す電話番号（ダイヤルイン番号）を割り当てる」（☞**3-49 ページ**）で各ポートに割り当てをおこないます。

Aterm の液晶ディスプレイ

ステップ1 **受話器をあげます**

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

12月　1日　10：10

ステップ2 **【＊】【＊】【1】【＊】と押します**

セッテイホ゜ートセンタク

ステップ3 **【4】を押します**

キョウツウ　セッテイ　1

ステップ4 **【＊】【8】【0】と押します**

（【0】には、契約者回線番号を登録します。）

【0】部分を［0］～［7］と変更すれば、［0］～［7］それぞれに 1 つの電話番号が設定でき、最大 8 個まで登録できます。
［0］～［7］の番号は、「（2）呼び出す電話番号（ダイヤルイン番号）を割り当てる」（☞**3-49 ページ**）で使用します。

ステップ5 **【*】【電話番号】を押します**

例： 03-1234-5678 のときは、
0312345678 と押します。

チャクアト゛　　0：
0312345678_

※ 表示されている電話番号を変更しない場合は、ここで【*】を押さずに
【＃】を押す→ステップ 6 の操作をしたことになります。
間違えて入力したときは、「参考」を参照してください。☞ **3-42 ページ**

ステップ6 **【#】を押します**

内線指定番号は、アナログ・ダイヤルインで使用します。ここではアナログ・ダイヤルインの設定をおこなわないため入力しません。

ナイセンシテイ　　0：
_

ステップ7 **【#】を押します**

セッテイホ゜ートセンタク

他のダイヤルイン番号を設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8 **【#】を押します**

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

約 5 秒間表示します

ステップ9 **受話器を置きます**

（2）呼び出す電話番号（ダイヤルイン番号）を割り当てる

かかってきた電話番号でどのアナログポートの呼出音を鳴らすかを設定します。最大 8 個の電話番号を割り当てることができます。

Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1 **受話器をあげます**

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

１２月　１日　１０：１０

ステップ2 **【*】【*】【1】【*】と押します**

セッテイホ゜ートセンタク

ステップ3 **設定するポート番号を押します**

アナログ A ポート →【1】を押す
アナログ B ポート →【2】を押す

アナログ゛Ａ　ニセッテイ

【1】を押したとき

ステップ4 **【*】【9】【1】と押します**

チャクアト゛　０　ケン

ステップ5 **【*】を押します**

チャクアト゛　０：
ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ

※ 表示されている設定値を変更しない場合は、ここで【*】を押さずに【#】を押します→ステップ 7 の操作をしたことになります。

ステップ6 **表示されている電話番号を設定しているアナログポートに割り当てるかどうかを選択します**

割り当てる場合は、【0】を押します。

割り当てない場合は、【3】を押すたびに次の番号が表示されるので割り当てる電話番号を表示してから【0】を押します。

割り当てられた場合は、番号の右に●が表示されます。

```
チャクアドﾞ      0：
XXXXXXXXXX
```

```
チャクアドﾞ      0：  ●
XXXXXXXXXX
```

ここでは、次のコマンドが使用できます。
0：電話番号を割り当てる / 割り当てない切替
1：表示されてる電話番号の続きをみる
2：割り当て状況をみる
3：次の電話番号をみる
4：前の電話番号をみる

ステップ7 **【#】を押します**

```
セッテイホﾟートセンタク
```

他のダイヤルイン番号の割り当てを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8 **【#】を押します**

これで設定は終了しました。

```
セッテイシマシタ
```

約5秒間表示します

ステップ9 **受話器を置きます**

（3）グローバル着信選択を設定する

契約者回線番号を設定したアナログポートを「グローバル着信を利用する」に設定し、その他のポートを「グローバル着信を利用しない」に設定します。

Aterm の液晶ディスプレイ

ステップ1 **受話器をあげます**

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

１２月　１日　１０：１０

ステップ2 **【*】【*】【1】【*】と押します**

セッテイホ゜ートセンタク

ステップ3 **設定するポート番号を押します**

アナログ A ポート →【1】を押す
アナログ B ポート →【2】を押す

アナログ゛ A　ニセッテイ

【1】を押したとき

ステップ4 **【*】【0】【5】【*】と押します**

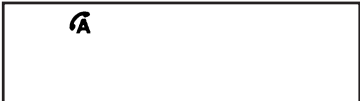
グローハ゛ルチャクシン
０：スル

ステップ5 **グローバル着信を利用する/しないを設定します**

利用する　：【0】を押す
利用しない：【1】を押す

グローハ゛ルチャクシン
０：スル

【0】を押したとき

ステップ6 **【#】を押します**

セッテイホ゜ートセンタク

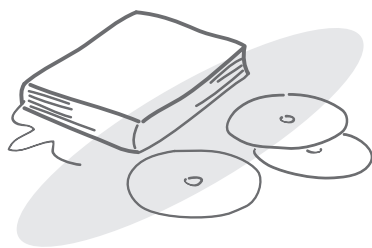
他のポートを設定するためには、ステップ 3 からの操作をくり返してください。

ステップ7 **【#】を押します**

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

約 5 秒間表示します

ステップ8 **受話器を置きます**

4 付 録

INS ネット 64 のお申し込みと停電時に Aterm を 使えるようにするための方法について説明します。

4-1. INS ネット 64 のお申し込み

最寄りのINS ネット 64 の窓口で、INS ネット 64 の加入手続きをしてください。手続きの詳細につきましては、INS ネット 64 の窓口にご相談ください。

INSネット64お申込票の記入のしかた

	項目	記入のしかた
①	お申込年月日	お申込票を提出される日を記入します。
②	ご記入者	お申込者の名前と電話番号を記入します。
③	ご利用開始希望日	工事を希望される年月日を記入します。
④	お申込回線数	お申し込みをおこなう回線数を記入します。
⑤	お申込者	住民票・登記簿上の名前を記入します。
⑥	お申込者ご住所	住民票・登記簿上の住所を記入します。
⑦	INS ネットをご利用になる場所	INS ネットを利用する場所の詳細を記入します。
⑧	お客様のご連絡先	個人で申し込む場合は、3 箇所とも「申込者」でかまいません。
⑨	毎月の請求書の送付先	送付される請求書の送付先を選択または記入します。
⑩	契約料・施設設置料負担金のお支払い方法	各料金の支払い方法を選択または記入します。
⑪	工事料金のお支払い方法	
⑫	通信機器代金のお支払い方法	
⑬	電話帳へお載せするお名前	電話帳への掲載名を記入します。載せない場合は、「不要」とします。

● **接続する通信機器**

• 通信機器の名称	「PC-IT40D1A」を記入します。
• メーカー名	NEC
• 数量	台数を記入します。
• 機器工事	□お客様 をチェックします。
• 認定番号	T99-5014-0 U99-0012-0 N99-0010-0 をすべて記入します。

DSU 折り返し機能 □有をチェックします。

● **配線工事等**

- 屋内配線
  お客様宅の保安器から壁のモジュラコンセントまでの工事です。
  □ NTT 工事(レンタル)　□ NTT 工事(お買い上げ) のいずれかをチェックします。
- 回線接続装置 DSU、TPC-14D ヒモ、接続用コネクタ、機器配線
  お客様のご使用形態に合わせてお選びください。

● **コンサルティング項目＊＊＊必須項目＊＊＊**

- インタフェース形態及びレイヤ 1 起動種別
  □ P-MP 常時を推奨します。
- 発信者番号通知サービス
  □通常通知（通話ごと非通知）を推奨します。初期状態で Aterm は「INS ネット 64 申込内容に従う」に設定されているため、発信者番号を通知するようになります。通知したくない場合は、IT40 らくらくユーティリティや AT コマンドで「通知しない」に設定します。
- ユーザ間情報通知サービス
  □着信許可をチェックします。チェックしない場合、電子メール着信通知、UUIメール、ユーザ間情報通知の機能が利用できなくなります。

● **コンサルティング項目＊＊＊付加機能等項目＊＊＊**

- ダイヤルインサービス
  Atermのグローバル着信機能を利用して、アナログポートを電話番号で呼び分けたいときには契約します。付加機能受付票でダイヤルインサービス追加番号数を記入し、□グローバル着信利用をチェックします。
- フレックスホン
  コールウェイティングや着信転送等を利用する場合にチェックします。このとき、あわせて付加機能受付票のフレックスホンの該当する項目をチェックします。
- □通信中着信通知サービスをチェックします。チェックしない場合、データ通信で、リソースBODの着信、電子メール着信通知、UUIメールの着信ができなくなります。また、コールウェイティングを契約する場合には、併せてチェックします。
- 解約されるサービスまたは復活される INS ネット
  お使いの加入電話から INS ネットに移行される場合は、
  □加入電話、□利用中、をチェックし、電話番号を記入します。

i・ナンバーに関しては、INSネット64の窓口にご相談ください。

4-2. 停電時に Aterm を使うために

Aterm は停電したときでも通話ができる機能（停電モード）を有しています。

停電時に使えるのは

- **アナログAポートに接続されている電話機などの機器と、データポートに接続された機器（停電時動作可能な機器）です。**
- **電子メール着信通知や遊遊メール、UUI メールでもご利用できます。**
- **S 点ユニットの S/T 点にも給電します。**

電池の連続動作可能時間の目安

※アナログ A ポート利用の場合

	連続待ち受け時間	連続通話時間
新しい単 3 アルカリ乾電池の場合	約 8 時間	約 4 時間

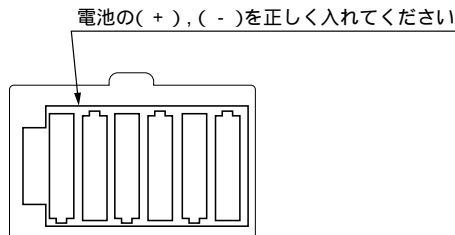
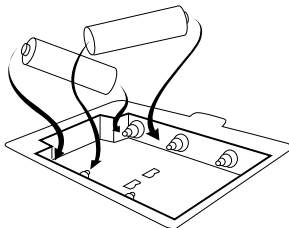
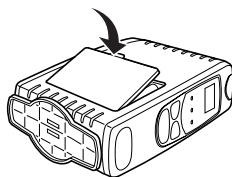
- アナログBポートに接続した電話機の受話器をあげると動作可能時間が短くなりますので、受話器は置いたままにしてください。
- S点ユニットまたはデータポートに接続された機器によって、時間が短くなりますので、必要な機器以外は Aterm からはずしてください。

設定のしかた

ステップ1 **電源スイッチがオフ（◯ が押された状態）になっていることを確認します**

ステップ2 **電池カバーを開けます**

ステップ3 **電池を入れます**

市販の単 3 アルカリ乾電池（6 本）をご用意ください。
電池の極性に注意して、電池ホルダーに入れます。

電池カバーを閉じます

Atermの電源スイッチをオン（「I」が押された状態）にします

電池装着時及び3ヶ月に1回程度、電池カバーを開けて電池の外観の点検をおこなうことを推奨します。

⚠ 注　意

アルカリ乾電池ご使用上の注意

● 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えると液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- 保証期間内の単3アルカリ乾電池をお使いください。
  （アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。）
- （＋）、（－）を正しく入れてください。
- 新しい電池と使用した電池、他の種類の電池をまぜて使わないでください。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
- アルカリ電池の性質上、液漏れによるトラブルが発生する恐れがありますので、停電がない場合でも1年に1回の割合で新しいアルカリ電池に交換してください。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。
  電池の液もれによる装置の故障については当社は保証いたしかねます。
- 電池に直接ハンダ付けをしないでください。
- 直射日光、高温、高湿の場所を避けて、乾燥した涼しい場所に保管してください。
- 電池を取りはずした場合は、小さなお子様が電池をなめたり、あやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへおいてください。

5　索引

◆数字・記号◆

◆A◆

◆B◆

◆C◆

◆E◆

◆F◆

◆I◆

◆M◆

◆O◆

ご使用の前に
接続とその確認をする
Atermを使えるようにする
付録
索引

◆P◆

◆R◆

◆S◆

◆T◆

◆U◆

◆W◆

◆ア～オ◆

◆カ～コ◆

◆サ～ソ◆

◆タ～ト◆

◆ナ～ノ◆

◆ハ～ホ◆

◆マ～モ◆

◆ヤ～ヨ◆

◆ラ～ロ◆

◆ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

◆ 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はおこなっておりません。

◆ ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
（2） 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4） 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5） Atermには初の停電機能を持たせるなど、災害時に於いてのライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。添付の各マニュアルをよくお読みになり記載されている注意事項を必ずお守りください。

Windows, Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
Netscape Navigatorは米国Netscape Communications Corporationの登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。
AmLINK3 © AMD

C&C for Human Potential

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

日本電気株式会社

ND-22260(J)
第3版
8/99